板木県南部にある栃木の町は、江戸時の舟運でつながる物資の集散地として栄え、さらに明治初期には県庁所在地となり、県内屈指の商業都市として栄え、さらに明治初期には県庁所在地となり、県内屈指の商業都市として発

五四棟が登録されています。
れらのうち、国の登録有形文化財として、超える歴史的建造物が残されています。こ期から昭和初期に建てられた四〇〇棟を期から昭和初期に建てられた四〇〇棟を期から昭和初期に建てられた四〇〇棟を

| 歴史的建造物が特に残っている地域は、| 歴史的建造物が特に残っているとのは、一九七〇年代後半から一部の研究ます。一九七〇年代後半から一部の研究ます。一九七〇年代後半から一部の研究ます。一九七〇年代後半から一部の研究ます。一九七〇年代後半から一部の研究をは、一九七〇年代後半から一部の研究をは、一九七〇年代後半から一部の研究を表す。一九七〇年代後半から一部の研究を表す。

年)などが上げられます。活動の結果、蔵並み景観形成要綱」等の制定(一九九〇世界)、「町並み見学会の開催、町並みや蔵造りに関があり、シンポジウム、「町並みゼミ」、町のの場合につながる活動と歴史的建造物の保存につながる活動と

理や修景も実施されました。定・登録が促進され、歴史的建造物の修浸透しつつあり、それに伴い、文化財の指動が徐々に結実し、文化財保存の理念がの所有者の連絡会議や保存活用団体の活

されています。歴史的建造物を保存していく環境も整備の街路整備が県等の事業として実施され、かけてアーケードの撤去や電線の地中化等、さらに、一九八八年から一九九九年に

基づいてすでに修景された建造物(二八うち半数以上が、町並み景観形成要綱に自で選定し登録申請しています。これらの象としましたが、二〇〇〇年度からは市独により選定された歴史的建造物をおもな対文化財の登録は、当初は県の建築士会

語る

の活用・保存が三棟あります。です。また、観光的な活用をすることで保後とも保存されることも視野に入れたもの棟)であり、登録することで修景建物が今

今後も積極的に文化財の登録を進めていく予定ですが、歴史的建造物を登録することは市民が地域に目を向けるきっかけることは市民が地域に目を向けるきっかけます。活用についても観光的な面で条件がます。活用についても観光的な面で条件がます。さらなる保存に対する最別も別しています。

(栃木市教育委員会文化課文化財保護係



見世蔵を土産品店として活用





見世蔵を新聞社支局として活用

います。 育まれた文化を後世に伝える役目を担って していくことで、一三〇年の歴史とそこに を生かした日本伝統建築の粋を集めた文 館をサポートしている組織です。 件もの国の登録有形文化財をもつ新井旅 に本拠を置き、 財建造物を修復し、 |・昭和と三時代にわたるそれぞれの特徴 N ZPO製彦 天平大浴堂を筆頭にてんぴょうだいよくどう 沐芳会は伊豆修善寺温 活用しながら保存 明治 五

イベントを開催しました。また文化財のま文化紀行の出版等に加え、各地で多種の伊豆文学出張講座、伊豆文学紀行と伊豆設けての講演会、シンポジウム、展示会、設け不の実施、その他では基幹テーマを具体的な事業活動は、新井旅館では館具体的な事業活動は、新井旅館では館



新井旅館天平大浴堂

写真撮影:小野吉彦

## 湯の街の旅館建築と文化遺産「沐芳コレクション」

ちづくりを提唱し、

(財

日本交通公社主

「観光とNPO」

研究会委員の立場か

その原動力となっているのが、

沐芳の残し

らも積極的に修善寺温泉を発信しました。

(一八七五~一九大数々の文化遺産です。 上野の美術学校出身 四五)の雅号です。上野の美術学校出身 四五)の雅号です。上野の美術学校出身 四五)の雅号です。上野の美術学校出身 四五)の雅号です。上野の美術学校出身 四五)の雅号です。上野の美術学校出身 であ、安田靫彦画伯をはじめ実に多くの文 ため、安田靫彦画伯をはじめ実に多くの文 ため、安田靫彦画伯をはじめ実に多くの文 ため、安田靫彦画伯をはじめ実に多くの文 にあった。 本芸にあった。 本語にあった。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による修善寺を舞台とした。 本語による。 本語による。



分野の所蔵本、

刊行物等文献の数々等

クト「沐芳コレクション」が各界有識者のこうした文化遺産を整理研究するプロジェ

館に残された貴重な作品や往復書簡、

登録有形文化財建造物を含め、

新井旅

各

リットを感じるとおっしゃいます。

活動に励んでおられる先生方も特別なスピ

ことでしょう。今、新井旅館を会場に創作

芸術の品評会はさぞ楽しくにぎやかだった

新井旅館青州楼

協力を得て、今年立ち上がりました。

写真撮影:小野吉彦

· 具 烟 彩 . 小 野 古 序

用してこそ宝物なのだと信じ、文化遺産 れました。 材として一部を使用) ではなく、私たちの知識や心の糧として活 気持ちで、全建造物を調査をして修復保 でした。沐芳に背中を押されているような 和九年に完成をみた天平大浴堂の予備 発見されました。大正九年(良寛堂の用 年以上と推測される台湾檜の用材が数本 完成までの修復過程を見ていただけるよ 存をするための建築関係のチームも結成さ 沐芳コレクション」の公開と新しい文化 創造に思いをふくらませております。 た平成一六年度の事業計画もできまし 同じころ、 特別見学会や宿泊研修会等を中心と 先人の遺産は保管されたまま終わるの みなさまに伝統建築の基礎から 旅館車庫から樹齢一〇〇〇 以前に用意され、 昭

(NPO法人靫彦・沐芳会理事長) 相原郁子)

彼らによって持ち込まれたさまざまな

な町家、 風建築などで構成された町並みは、 城下町としての面影があります。また、汀 ますが、 の大正八年と二度の大火に見舞われてい れまで近世の承応元年(一六五二)、 辺地域の中心として発展してきました。 水の音が絶えない水のまちでもあります。 ねられた歴史を感じさせてくれます。 戸末期から昭和初期に建てられた伝統的 藩の城下町として発達しました。明治にな 水による水路網がはりめぐらされ、 中央を清流吉田川が流れ、名水百選に選ば っても、 れた湧水「宗祇水」や、北町用水、 そもそも郡上八幡は、江戸初期より郡ト 岐阜県のほぼ中央に位置する郡上八 「郡上おどり」で有名です。また、 郡役所や裁判所などが置かれ、 町割りや地名はよく残っており 明治から大正の間に建てられた洋 積み重 島谷用 一日中 近代 HT 周

町役場庁舎と旧林療院です。 のが、 物が登録されています。最初に登録された 化財の登録を進め、 ちづくりを進めるため、 この郡上八幡が培った歴史を生かしてま 吉田川左岸の中心部にある旧八幡 現在六件 平成一〇年より文 一四棟の建

られた洋風の建物で、 していました。移転後の施設の利活用につ 庁舎へ移転するまで行政の中枢として機能 旧八幡町役場庁舎は昭和一一年に建て 平成六年五月に新

## 幡の

れる数多くの観光客に、 舎記念館として再生されました。現在、 とに決まり、 部は観光案内や地域の物産を販売するこ は建物の取り壊しも検討されました。 いて住民の間でも大きな議論となり、 て親しまれています。 最終的に外観は建設当初に復原し、 平成一一年に郡上八幡旧庁 くつろぎの場とし しか 訪 内 時

治初期に建てられた庄村家住宅は、

数多 明

江戸末期に建てられた斎藤家住宅、

くある伝統的な町家の中でも、

規模、

医院、

圧村家住宅などが登録されました。

ている斎藤家住宅、

河合家住宅、

旧

谷

料や地域の芸術家の作品を展示すること れた個人病院で、平成九年八月、 に決まり、郡上八幡樂藝館として平成 た結果、 に寄贈されました。 一年に再生されました。今では町のギャラ ーとして多くの方に利用されています。 方、 これらに続いて、住まいとして使用され 外観はそのままに、 旧林療院は明治三七年に建てら 利活用について検討し 内部は民俗資 八幡町

踊り







斎藤家住宅と新町の町並み

かそう、 制度を活用していきたいと思います。 る活動につながるよう、今後も文化財登録 を活かし、 では町並みになりません。核となる建造物 体として重要なものですが、ひとつひとつ 「点から線へ、線から面へ、 文化財」 さらには地域全体を保存活用す です。 残そう、

です。

郡上八幡の町並みの核となっています。 ともに群を抜いており、そのたたずまいは

郡上八幡の町並みは地域の大切な資産

個々の建造物は町の歴史を伝える媒

は

(郡上市教育委員会社会教育課

河合智子)

八年 える建物が今も残っています。 もある武家屋敷や町家等は約 多くの遺構が残り、 遭わず、歴史的建造物や用水、 〇〇年余、 賀百万石の城下町を築きました。その後四 その盛政が賤ヶ岳の戦いで敗死し、 に始まります。天正一一年 丸山城にいた前田利家が金沢城に入城、鷺峰 金沢の町の成立は、 (一五八〇)に金沢城を築いたこと 幸いにも戦禍や大きな災害に 特に城下町の特徴で 佐久間盛政が天正さくまります。 蚁死し、七尾小- (一五八三)、 万件を詔 小路等数

を守りこれと調和した都市づくりを目指 に先駆けて歴史的環境と豊かな自然環境 組みは古く、 金沢における歴史的建造物保存の 昭和四三年に全国の自治体 取



家屋敷の大屋家住宅 (江戸末期)

万石の城

### 金沢の記憶をたどる歴史的建造物

取組は、 経験者の意見を参考に、 等三四か所五四件が国の登録文化財とし にかけて、 補を選定し、 前述の保存建造物候補の基礎資料や学識 て登録されています。 平成八年に施行された登録文化財への さらには橋梁や貯水槽等の土木遺産 藩政期の武家屋敷や町家、 五〇棟の調査を実施しています。 当初は国からの候補を基に進め、 石川県建築士会の協力を得て 平成一〇年度から一四年度 平成九年度に候 近代の洋 現

置する東山ひがし重要伝統的建造物群保 中でも金沢城の北東、 浅野川 右岸に位

や町家、 存する制度を設けており、現在は武家屋敷 由緒由来のある歴史的建造物を指定、 されています。 たころから始まりました。 た「金沢市伝統環境保存条例」 その条例の中で保存価値の高いものや 近代建築等二九棟の建物が指定 昭和五八年から を制定

保存・ 棟が登録されています。 を残す「ちょっとした町並み」を保存する 存地区ほど面的広がりや質的純 「こまちなみ保存建造物」 たないまでも、 金沢市こまちなみ保存条例」を制定し また平成六年には、 育成にとって特に重要な建造物を まとまりがある歴史的風 伝統 لے با 的建 現在四三 粋性はも 造 物群 保

観光客に公開する等、歴史的建造物の幅 録したことで、中にはギャラリーや店舗 旅することができます。これらを保存・ ち並び、 昭和初期に代表される歴史的建造物が 存地区から浅野川、 広い活用が進み、 に向かう道筋には、 歴史都市金沢に新し 江戸・明治・ 金沢城へ と市中 大正 /<u>[]</u>

世に受け継ぎ伝えたいと思っています。 代を物語る生きた歴史の教科書として後 建造物の保存と活用の取組を進め、 風がおきようとしています。 今後も市や国の制度を合わせて、 建物の様式から城下町の記憶を 歴 各時 一史的 登 建

(金沢市都市政策部文化スポーツ局 文化財保護課主査 宮川秀隆



旧三田商店(昭和5年):1階をギャラリーに活用

隈を「風待ち通り」と呼んでいたことに因 風を待って出帆していたことから、 んでいます。 織で、会名の由来は、 く残る昭和初期等の建造物を調査する組 風待ち研究会は、 気仙沼湾周辺に数多 かつて帆船時代に西 内湾界

げ)をもつ建物

石蔵(漆喰仕上

央に台形平面

す。その上、ど

に代表され

ま

り 期に造りあげました。 年と昭和四年の二度、 で大火を引き起こしました。しかし、その 一度の焼失にもかかわらずすぐ再興が始ま この風は、出帆の力になる反面、 洋、 蔵混在の見事な建物を同時 内湾周辺の市街地 大正四

九帆 物が、 は の生業の形式が見られる港町独特の建造 敷地にあわせた不整形な平面で、 な土地の内湾周辺部には、 海岸近くまで急峻な山裾が広がる狭隘 間口が通り側で八・四 多く現存しています。例えば、 奥行全体が三〇mの竹の子状で、 その不整形な μĺ 奥で かつ当時 ф



男山本店店舗(昭和6年ころ:登録有形文化財)

知っていただくための

『高校生の写真コンテスト』

真展』『フォーラム』

等、

「し進めてきました。

います。

また、昭和四

查

随所に施されて

の込んだ造りが かない様に、手 はとんど気がつ の不整形建物も

により、 造物の大きな特徴の一 洒な技法の『東京大工』と、 受け継ぐ『気仙大工』、そして文化的で瀟 り上げた大工、左官、 年の大火後、近隣同時に建造されたこと による和洋混在も、内湾周辺の歴史的建 の『気仙沼大工』、近隣の宮大工の技法を 技が随所に残っており、加えて気仙沼独自 風待ち研究会では、 お互いの職人魂を刺激し合って造 一つとなっています。 これら港町独自の建 板金等の見事な匠 多種の技法

(昭和5年ころ

不整形建物 武山米店(昭和5年ころ)

造物から、この町に残る歴史的文化的価 値を再発見し、それらをより多くの方々に 『建物ウォッチン 種々の行事を企 「建物の写 ていくことを願っています。 録有形文化財が生まれ、 て記録することによって、 の特徴をまとめた『風待ちマップ』を刊行 ぶ町in気仙沼』 建造物を紹介した 史的建造物が残る港町」として多くの登 の調査に、 で活かされつつあります。 建造物周知活動を続けてきたことにより、 するなど、登録有形文化財および歴史的 今後も、内湾周辺に残る歴史的建造 さらに、登録有形文化財を含めた調 これら建造物群が「まちづくり」の中 建物が語る歴史や暮らしを加え (風待ち研究会代表 の冊子や、 『昭和初期の建物の並 市民に親しまれ 「昭和初期の歴 調査建物とそ

U R http://aitaii.com/kazamachi. 真山美知代

しています。 財として登録され、 在までに一二か所三五件が登録有形文化 録有形文化財制度を活用しています。 の歴史的遺産をまちづくりに活かすため登 ました。「なはり浦の会」は奈半利町周辺 保存活用する町並み保存会として発足 半利の近世の地割りと近代の建造物群を 「なはり浦の会」は平成一 一年六月に奈 毎年少しずつ追加登録

出 の宿場町として、 終着駅は奈半利にあります。 鉄道「ごめん・なはり線」が開業し、 には日本最後のローカル線、 を偲ばせています。なお、平成一四年七月 産の森林鉄道の遺構は随所に残り、 出され、奈半利港より海路阪神方面に移 や魚梁瀬などの木材が森林鉄道により搬 や捕鯨基地として栄えました。また馬路村 江戸時代には参勤交代道「野根山街道 て土佐屈指の木材搬出港としてにぎわい て書かれた奈半利は、 紀貫之の土佐日記に『奈半の泊』とし 戦後の復興を支えました。近代化遺 明治時代には樟脳づくり 古代から中世にかけ 土佐くろしお その

ちは 工法を生み出しました。土佐漆喰壁は風 屋を守るための工夫として、土佐の先人た の常襲地域です。 奈半利町の位置する高知県東部は台風 「土佐漆喰壁」と「水切り瓦」の建築 厳しい自然環境から家

> や土蔵が多く残ります。 切り瓦の施された伝統的建築工法の民家 す。奈半利の町並みには土佐漆喰壁に水 果たし、壁に雨水がしみ込むことを防ぎま の庇のことで、この庇が雨水を切る役目を 土佐漆喰塗りの壁から突き出した小さな亙 雨に強い特徴をもっています。水切り瓦は

> > や石塀の価値を認識し、

歴史と風土に育

を担っていることに気づきました。

まれたそれらが奈半利の景観に重要な役割

こでは、 興味深く見学できます。 蔵は、水切り瓦が六段ついたもので、 は繭の保管庫として使用されています。 大正六年創業の藤村製絲株式会社の 繭から生糸ができるまでの工程を 現在 西

東山家住宅や、 を和風喫茶に活用した竹崎家住宅などは 展示した資料館とミニギャラリーに、 また水切り瓦付の蔵を薬局の店舗とする 蔵を幕末からの調度品を 主屋

個性

町の活性化に一役かっています。 されたことで、 町並みの建物が登録有形文化財に登録 私たちが無関心でいた建物

す。今後も、 ドによる観光案内、小学生の総合学習 と考えています の活用ができる場と人づくりにつなげたい えてきた町の歴史と文化遺産を保存伝 の協力など、多方面の活動を続けていま を利用して、観光振興、 なはり浦の会」では、 私たちと子孫のためにさまざまな遺産 陸路・海路の要衝として栄 ボランティアガイ 登録有形文化財

(なはり浦の会代表 森 美恵



漆喰と水切り瓦

(明治32年:登録有形文化財)



ティアガイドの研修会



学生総合学習の町並みウォッチング

協力を得て「畑田塾」、 住宅活用保存会 高学年から中学校の生徒に、いろいろな分 あっても将来のことを考えはじめる小学校 語りかける屋敷の中で、 心となり、羽曳野市と同教育委員会の支援 年に登録有形文化財に登録されました。 趣をよく残している庄屋屋敷で、平成 羽曳野市郡戸にあります。明治期の旧家の ーラムを開始しました。 の専門家との対話と学習をとおして 畑田塾は、 畑田家住宅は、 これを期に、 江戸時代からの文化・歴史を 平成一二年春より、 (現会員数二四七名) が中 河内平野の真中、 一般公開並びにフォ たとえ漠然とでは 畑田家 府



畑田家住宅全景

#### 畑田塾,公開,フォ 宅からの文化の発信

と考えて、

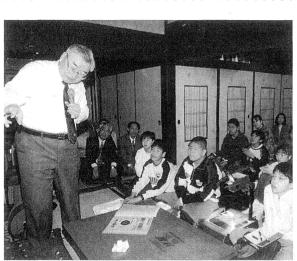
保護者と一緒の参加を奨励して

でなく家庭や地域のつくりだす環境が大事

のが目的です。子どもの教育には学校だけ

来の道を見つけるきっかけをつかんでもらう

置かれた昔の生活用具などを見て、この家 を呼び起こされます。また、こわごわ、 畑田弘美氏ら二〇名になりました。 た分野、 から親しく話を聞いて、これまで知らなかっ し二階」に登ったり、 て家の中を探検し、 子どもたちは、畳部屋でその道の専門家 考えてもみなかったことへの関心 床の下にもぐったり あちこちに無造作に



主屋で催された畑田塾 (金森順次郎元大阪大学総長の磁石の話

の話は、

人々の文化を学び取っていきます。

専門

いをはせ、自分たちとは違う時代に生きた に暮らしてきた人々の生活様式や風習に思

容を記憶しておくという特技をもっていま

難しい話も無駄にはなりません。

小学生は話がわかるようになるまで内

時には難しすぎることもあります

くれました。 を楽しむ集い」では、シリンダーオルゴール 肥塚隆氏による「アフガニスタンの美術 による出版を開始しました。第一作は前記 古い木の家の良さをあらためて実感させて の繊細で音域の広い音色が家中に広がり た。当主の畑田耕 者全員による熱のこもった議論が続きま く」などのフォーラムでは、講演後、 ける洋画家の中村貞夫氏による「大河を描 屋をアトリエにして風景画の大作を描き続 文明の十字路の古代と現代―」、畑田家の納 化を語ろう」、大阪大学総合学術博物館長の 名の参加を得て開催した「世界の人々と文 近県都市に及びます。世界一一か国、 の午後に行うフォーラム参加者は地元から 昨年より塾やフォーラムの内容の小 毎年五月と一一月に行う一般公開と、 一が行った「オルゴール 参加 七〇  $\blacksquare$ そ

講師は元大阪大学総長の金森順次郎氏、

います。毎年三月に二日間行っていますが

家の筒井康隆氏、フォトジャーナリストの

小林正典氏、

関西二期会会員でソプラノの

(畑田家住宅活用保存会会長 顧問 畑田耕産 「アフガニスタンの美術」です

今に残る歴史的なまちなみは、そのころの 代は秩父銘仙に加え、セメント、秩父鉄道 ものがほとんどです 造物を生みました。 開通でにぎわい、今に残る多くの歴史的建 く知られたのは近代に入ってからです。 でしたが、 な盆地にあります。 秩父市は埼玉県北西部、 絹織物の「秩父銘仙」 明治初期に大火があり、 古くから養蚕業が盛 荒川上流の大き の名が広 沂

とその取組の一端を紹介します 査までを手伝いました。ここで、 基本方針のもと、その計画策定から個別調 父市の「文化財によるまちづくり」という 策定しました。 父市文化財・歴史的遺産活用基本計画 そこで、秩父市では平成一二年度に (株)グリーンシグマは まちの様子 一 秩 秩 を

第8回



(小池煙草店

近代の銘仙のま

## **夫父の歴史的建造物**

連ねていました。お店では、 たすと、当時からあるらしき料理屋が軒を した。 いろな物語に出会えます。 楽しくなってきます。 伝に使ったという煙草屋、 から手拍子が聞こえると、そろそろ来るな ったそうです。なるほどと思って近くを見わ つ医院建築など多種多様です。 こ察したそうです。 (い継ぎ通りは、 また「銘仙のまち」を意識すると、 近郷の機屋の出張所が軒を連ねていま 商談がまとまると昼間でも宴会にな 東京の買付人との商談用 例えば番場町

歴史的建造物をまず身近に感じてもらおう 気を見直し、歴史的建造物を活かしてまち うこととなりました。 りました。そこで登録文化財制度を活用し と、年に一〇件程度の調査と登録申請を行 万々に受け入れていただけるのか不安があ つくりをしていこうという狙いを、 こうした古き良き時代のにぎわいと雰囲 まちの

散策にもう一つの楽しみが生まれました。そ 登録文化財も二四件を数えた今、 まちの

ると、「あっ、ここにもあった!」と次第に にぎわいを支えたカフェー、 銘仙の問屋、 を中心に、 歴史的建造物は、 いたる所で目に付きます。 近郷の機屋の出張所、 秩父神社門前の番場町 洋館の意匠をも 専売公社が官 散策してい まちの いろ 秩父

買い継ぎ通りの秩父銘仙出張所建築

め

(左:カフェバーリーベ/登録文化財) (中央:そば処入船/登録文化財)

後、 いていました。 を直しておこうとおっしゃいました。 は、文化財になるなら、 もらいたいと微笑んでいました。 た。そして昔の立派な梁をお客さんに見て たからと、店の新建材の天井を撤去しまし 出会うことです。 れは登録文化財がきっかけの新 その近くを歩いてみるときちんと取り付 ある方は、 壊れたままの看 文化財に またある方 い 動 なっ きに

買い継ぎ通り

(株式会社グリーンシグマ 星名康弘 いくような感じがしています。

ていねいにそして誇らしげに活気づいて

再び銘仙でにぎわっていたときのよう

か、

歩ずつですが、

家が、

店が、

まちなみ

秋田市中心より南西

る。

短期大学(石川好学長)、 に平成七年に開学した

『秋田公立美術工芸

通称=美短|

旧米倉庫群

ももおだ入口

雄物川の河口近く



現在に色濃く伝えている。

され、

地域のランドマークでもある。

かつて

このようにさまざまな卓抜した活用がな

代化遺産)

が、

今後、

新たな文化創造の拠

は農業経済の一端を支えた伝統的建築

旧米倉庫東側外観

## 創

融合し、芸術系大学に相応しい景観すら

倉庫群が建ちならび、

新旧の建築が見事に

た斬新な校舎群や七〇年前建てられた木造

構内はコンクリートとガラスで構成され

し出している。

## 農業倉庫からの文化の発信

 $\mathcal{F}_{1}$ 

m

新宮 屋ゃ

言庫

と改称された。

そのおもな用途

合会 (現秋田県経済連)

几

[年に農林省に寄付され

国立 建設

記

(棟の倉庫は当初)

秋田県販売購買組合連

が昭和九年に

およそ南北に軸線をもち、

整然とならぶ

学生自治の うち三棟は 声や、 発達している『コミュニティーカレッジ 倉庫を再生することが決定された。 なったが、市民からの保存活用を要望する 平成二年、 市の大学設立構想計画が相まって 「創作工房棟」、 大学専用の 『実習棟』、 加えて、 北米で 倉庫の 棟が (地

は米の需給調整で、 秋田県における全消費

大学実習棟 全体配置図 彫刻家



流政之氏と学長の対談



絵本作家の巨匠 ワイルドスミス展



実習棟での秋田竿灯屋台制作

込み線が入る、庇付プラットホームを備え 感じさせる。 折衷で、その空間は構造的な美的効果すら 列の白木丸太柱が並列する。 建、モルタル塗、 ていた遺構が残存し、 量の約三割の保管を可能としており、 ころ秋田の経済の基盤を支えてきた。 倉庫はすべて同規模、 奥行四五 M、 東側には羽越本線からの引き 内部は中央を通路とし二 高さーニm、 往時の面影の 同構造で、 小屋組は和洋 木造平 間口 一端を 米ど 崖

る

時流の変化により用途廃止と

ている。

ている。 ランを備えた『地域交流棟』。 では〝ものづくり〟を体験する『体験棟』、 地という意)」と名付けられ、 『アトリエももさだ(ももさだとは百三段と 域に開放された大学)』を志向して、三棟が 術振興財団によって運営されている。 市民の作品展示、地域文化の交流の場であ 『市立新屋図書館』 『ギャラリー棟』、 アイヌ語のモムサンドイ=川尻の土 の一施設として運用され 多目的ホールやレスト 南端の (財) 秋田学 そこ 棟は

協力:同大講師 石垣充、同大(秋田公立美術工芸短期大学教授 三野健太) 点として活用されることが大いに期待され

長崎県南部にある島原は、

豊かな湧水群

中心市街地の再整備が行われました。 整備事業」の指定区域となり、 知られていました。 なったのは、 火災害でした。災害中に国の 方、 水路と石垣が美しい武家屋敷街などで 今、私たちが住む島原城址のふも 平成二年からの雲仙普賢岳 しかし、 アーケードも 「街なみ環境 躍、 いくつかの 有名に

でした。 なく手つかずのいわば取り残された商店街 とにある森岳商店街地区は、 店の集積度が低く、 島原を訪れたコンサルタントも 日配品を扱う核となる



宮崎洒店店舗 / 登録文化財

#### 賢岳の麓の町 島原の歴史的建造物

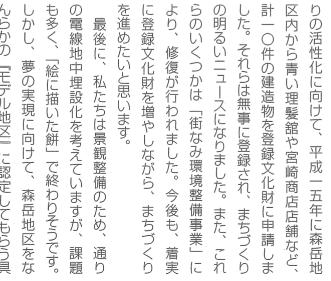
並調査を委託しました。 国の登録文化財候補が掲載されました。 ナショナルトラストに、森岳地区も含む町 島原市は、平成一三年度、財団法人日本 こうした調査の成果をもとに、まちづく 調査報告書には

きをしたくらいでした。 なしていない」と、変なお墨付 店もなく商店街としての形を

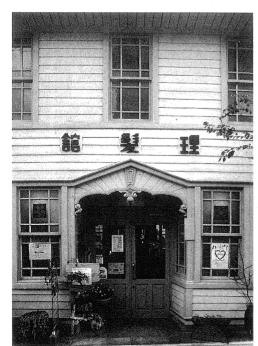
発見した私たちは、今は使わ が残っている町であることを再 間をすごせる町』として生きて の商品ではなく『心豊かな時 にとり、 ォッチングをして古き良き建物 いこうときめたのです。町並ウ そこで、私たちはそれを逆手 商店街の売物を各店

の拠点施設として活用されています。 を譲り受け、 造の青い理髪舘 い理髪舘は、 に申請し、 ブ事業を活用しました。そこに民間組織の していました。そこで、 流れからか取り壊され、駐車場になろうと れていない酒蔵でイベントを行いました。 森岳まちづくりの会」も応援するという形 ほぼ同時期、 周辺の緑化事業を宝くじ基金助成事業 採択されました。こうして、 現在、 長崎県の商店街クリエイティ 商店街にある大正一二年建 (旧小林理髪舘) 町並観光とまちづくり 商店街が建物部分 が時代の 書

体策を模索しているところです んらかの しかし、 も多く、「絵に描いた餅」で終わりそうです。 最後に、 夢の実現に向けて、 『モデル地区』に認定してもらう目 私たちは景観整備のため、 森岳地区をな 課 通



長崎県島原市 森岳まちづくりの会代表 (古書店経営)



青い理髪舘(旧小林理髪舘)/登録文化財

うか? もちろん、あまり聞き慣れていない と高齢者ケアのかかわりってどんなことだろ 言葉であり、珍しい関係といえます。 回想法ってなんだろう? 文化財建造物

医が提唱した手法で、日本でも多くの研究 法です。一九六〇年代にアメリカの精神科 呆や閉じこもりの予防になるという心理療 思い起こし、語り合うことにより楽しい時 が鮮明に覚えている子どものころの記憶を 事業が進められ注目されています。 を過ごし、 回想法とは、 それが高齢者ケア、さらには痴 高齢者の記憶、 特に誰しも

きわめて重要な意味をもちます。

昔から使

い慣れた物や雰囲気があれば高齢者の心理

料館と国登録有形文化財の旧加藤家住宅で その契機、 全国に先駆けて実践してきました。 介護予防事業に回想法を展開しています。 ふれあい事業」と題して地域の高齢者ケア、 師勝町では、平成一四年度から「思い出 拠点となったのが、歴史民俗資

生活資料の収集に力を注いでいます。 ら昭和時代の資料収集を始め、その後、 が開館した平成二年には、埋蔵文化財と民 ています。 日常博物館」とも呼ばれる顔を前面に出し な方向性を出してきました。現在は、 示フロアはすべて昭和三〇年代という明解 俗資料の展示が主体でしたが、平成五年か 懐かしい」に終始し、 師勝町歴史民俗資料館では、昭和時代の 会場で聞かれる来館者の声は なかでも高齢者が自 本館

> もなっています。 らの言葉で笑顔とともに自らを語る場所に

屋を中心に長屋門、 昭和戦前期の暮らしが今もなお息づき、 回想法を行う際、環境が高齢者にとって 一方、旧加藤家住宅には、 中門の六棟が登録されています。 離れ・茶室、 明治時代から 土蔵、 主 高

文化財の

俊医師を中心に、作業療法士、 携した介護予防事業の取組が具現化しまし 芸員が参画して、 面に良い安定を与えます。 台として、国立長寿医療センターの遠藤英 こうした博物館資料や文化財建造物を土 博物館と福祉と医療が連 保健師、 学

> 開催し、 勝町回想法センター」 た。旧加藤家住宅の敷地内に設立された「師 て有効に活用されています。 して、定期的に回想法のグループワークを また、学術、 研究、 は、 回想法の拠点と 研修の場とし

なりました。 思い出をさらに効果的に呼び覚ます場所と しての拠点である回想法センターが融合し 文化財としての建造物と介護予防事業と

果たしていくと思われます。 造物の活用を考えていく上で重要な役割を 供する回想法は、 社会参加、学習の機会、 高齢者の記憶をきっかけとし、 今後、 博物館や文化財建 心理面でケアを提 高齢者に

(師勝町歴史民俗資料館学芸員 市橋芳則



思い出ふれあい事業」の展開





市勝町回想法センタ 一全景

九七年以降、東京の歴史的建造物の保存

歴史・文化のまちづくり研究会は、一九

財にしたいという人が徐々に現れ、 文京区が中心でしたが、 ディネートするようになりました。当初は するようになり、登録有形文化財へとコー 近では東京から首都圏へと範囲は広がって ました。 セミナーに加え、 活用に焦点を当てた活動をしているグルー ブです。 当初、 現在の会員数は一三〇名程度です。 具体的な活動としては年に二回の しかし、 見学会などを開催してい 所有している建物を文化 徐々に拡大し、 調査を



都心の住宅地に溶け込む鳳明館

#### •交流 京からの文化の発信

相応しい文化財の建築空間で聴くという、 ルネッサンス様式の教会で聴くというよう まず、登録にコーディネートした登録有形 ついてくれたことも後押しとなっています 催が定例化されています。 なりました。趣旨は、 文化財の教会などで「文化財と古楽コンサ 行うようになりました。これは大変評判が いわば実演による建築と音楽の保存活動を その後、活動は多様な展開となりました。 ト」と題するコンサートを開催するように 古楽といわれるジャンルの音楽をそれに 毎回満員で、いまでは年に一 ルネッサンスの音楽を 新聞社が後援に 二回の開

録有形文化財に導きま います。これまでに約 三〇か所、七〇件を登

設立・支援活動を行う 的建造物所有者の会の 者が集まっている歴史 登録有形文化財の所有 た、日本建築学会編集 "近代建築総覧』 出版 ようになりました。 ま こうして、首都圏

建築』という本も出版しました。 区の近代建築残存調査を行い、『東京の近代 から二〇年後の二〇〇〇年には、 東京ニニ

が、特にカトリック神田教会ではローマ法

王庁大使館からの後援もいただき、

大使館

からも参加していただいております。

時代を偲びつつ、 になったことから、 ます。樋口一葉が五千円札に登場すること 方で、蔵を使った朗読会も開催してい 質屋の蔵の中で朗読会を 樋口一葉が貧しかった

開催しています。 年では、 発活動を中心に活動が始まりましたが、 されるようになっています。 で多くの出会いがあり、 を展開しています。 活用した出会いと交流ができるような活動 以上のように、歴史的建造物の保存と啓 保存活動を継続しながら文化財を 活動を継続していく中 幅広い活動が展開 近



ク神田教会での古楽コンサート



旧伊勢屋質店での朗読会

闊達な進取性ある気風を生みました。 ここ小豆島の内海町は、 古くから自由

名なマルキン忠勇

株

など、計二二か所

から続く三軒のお醤油屋さん、 〇年を迎えるヤマサン醤油

全国的に有 江戸時代 遺産が残ってます。平成一八年に創立

(株)、

なってます

(小豆島全体では、

平成一

七年

地区としては全国でも有数の集中地域と 、八件が登録有形文化財に登録されており

黒になった瓦屋根、 ます。 りました。これが佃煮産業のはじまりです。 いて関西に持ち込み、 ていたサツマイモの蔓を自慢のお醤油で炊 ○○軒余の醤油屋があったと伝えられてい 西という大消費地を抱え、 や職人を運んできて醤油造りが始まり、 を船で運び、大阪、紀伊地方から醸造技術 黴の張りついた醤油蔵など、数多くの文化 た先人たちの焼き杉板の壁、 大分辺りから醤油の原料となる大豆や小 内海町には、そのような歴史に支えられ 塩造りにはじまった産業も、遠く九州 戦後の食糧難の時代には、捨てられ 建築内部にびっしりと おいしいと評判にな 明治時代には四 黒麹黴で真っ



ヤマサン醤油の醸造施設群

## 伝統産業と

の郷

散策マップ 醤油屋、

一を作成し、

島内外の港や

佃煮屋を取り上げた「醤



町並景観と「醤の郷」のサイン

豆島の伝統と文化遺産を守って、

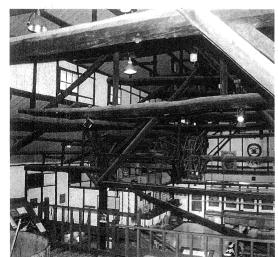
「和と輪」を広げていきたいと考えています

内海町醤の郷委員会委員

塩田洋介

ばかりの若い組織です。平成のはじめに小 を活用すべく新たな取組を始めました。 きる町並みにとの思いで、 を改めて認識し、 の文化遺産を残し、 してスタートとした 豆島うちのみ商工会の地域整備事業計画と 一月九日現在、二九か所、 昨年、 「内海町醤の郷委員会」は、 人々が歩いていて散策で 町民が互いにその存在 「醤の郷」 一〇六件)。 登録有形文化財 昨年発足した 構想が BT

建物の保存・修復等々を、 すが見学や体験、 醤の郷 客に訪れていただけるようになりました。 宿泊施設等で配布したところ、多くの観 よって新たな観光資源の開発をしつつ、 「二十四の瞳」 イドの育成、 たマップのより一層の充実、 一した看板を設置したり、とこれからで しかし、 そしてまた「オリーブの小豆島」 内海町オリーブ振興特区)との連携に 「馬木散策路」として一部の地域に まだその端緒に就いたばかりで 子どもたちの学習への協力 関連諸施設、 直売等可能な案内の入っ 名勝「寒霞渓」 ボランティアガ 小豆島八八か



マルキン記念館(内部)

ます。平成四年三月の第一歩が踏み出された。このときに町内に残る歴史的建造物はます。平成四年三月の第四八回企画展では「真壁の町並みと景観」という展示を行いました。このときに町内に残る歴史的建造物が多数調査され、その第一歩が踏み出されが多数調査され、その第一歩が踏み出されました。

第14回

壁城跡が、国指定となり、現在実施中の整備平成六年一〇月には茨城県指定史跡の真



真壁の町並景観(上宿通り

## 石の町真壁のまちづくり 城跡・町並・文化財建造物

れました。

を巡り散策し、風情を楽しんでいました。

さに町民と観光客が一体となった姿がみら

客が訪れ、

人波は、

町並みに入り込み、

た。 家 ま 々

れました。三年目の今年は八万人余の観光民主催の「まかべの雛祭り」行事が実施さ特筆すべきは、平成一五年二~三月に町

本ります。 平成一一年度三三件、総数は実に一〇四件と がる歴史的建造物について、調査を継続 しつつ、登録有形文化財建造物への登録を 上のできました。平成一一年度四件、平成 一四年度一三件、平成一一年度四件、平成 がる歴史的建造物について、調査を継続 本ります。

事業で、中世城郭が復元されつつあります。

将来を見据えたさまざまな活動を行い、 財の保存と活用を図り、古い町並みを活か 並みの再発見がなされています。 み案内ボランティア』、平成一五年六月には 月には年間三〇〇〇人の案内を行う『町並 る『登録文化財を活かす会』、平成一三年九 録文化財所有者)の協力により、登録文化 表する地域とし、町民の誇りと財産にして したまちづくりに寄与する」ことを目的とす いく」ことを目的とする『ディスカバーまか た同時に整備と活性化を図り、東日本を代 「まちづくり真壁」等の諸団体が設立され、 地域の活動を眺めると、平成五年七月に 「町民に真壁の町並みのすばらしさを啓 平成一三年五月には、 その景観を子孫に残していくこと。 「会員相互 田丁 ま

を活かした自立生活の創造が急務です。 それには豊かな自然の回復、 を通じた営みへの回帰、 域住民に対しての啓発活動を行っています。 施しています。調査は多項目におよび、その 三か年、伝統的建造物群保存地区制度導入 と思います。 化財・歴史の町並みが復原されてゆくこと うすれば、その真の基盤の上に、新たな文 活する環境をしっかりと整備することです 成果を数度の住民説明会などで発表し、地 に向けた伝統的建造物群保存地区調査を実 これらを受け、 私たちに必要なのは、 町では平成一五年度から できる限り地の糧 農山村の四 自分たちの牛

(真壁町歴史民俗資料館課長補佐 星龍象)



登録有形文化財と「まかべの雛祭り|

福島県南会津郡田島町の「南山」と称される に国の登録有形文化財になりました。 の農家の構成が残されており、平成一二年 小屋の四棟で構成されています。この地方 蔵入領にあり、主屋、隠居所、土蔵、水車 奥会津 「臣の郷」と称する堀金家住宅は

います。 隠居所は数寄屋風意匠でまとめられた明治 央にある煙出など、この地方の江戸末期民 れています。 耐え得る構造で、 家の特徴的な構造をもっています。 れていた農耕具等、 期のもので、 屋敷の中心となる主屋は茅葺で、棟の中 土蔵は江戸末期とされ、豪雪にも 宿泊施設として利用されて かってこの地方で使用さ 三〇〇点以上が展示さ 茅葺の

場と考え、 ています。 対象としていますが、大人の方も利用され 目を迎えます。小学生から高校生をおもな それまで収集してきた奥会津地方の古い牛 しや文化を後世に残すべく、ここを体験の 活用具や農耕具を実際に使い、先人の暮ら 九八三年、 無料開放してから今年で二二年 当時教職にあった郷長が、

郷からの文化の発信

宿 ットーです。素手で魚をつかみ、 圏の子どもたちが訪れます。 夏休み期間は、 PTA親子行事等々、県内および関東 「働かざる者、 スポーツ少年団関係の合 食うべからず」がモ 臣の郷では、 釜でご飯

割りと、 を炊き、 汗して働きます。 大八車を引いての杉の葉拾いや薪

体

切さ(もったいないという気持ち) ら、友達の大切さ、家族の大切さ、 らせます。これら一連の行動をとおしなが 灯と拍子木での「火の用心」と、集落を廻 での語らい、受け継がれてきた民話の世界 してもらいます。日が沈むと囲炉裏を囲ん 農作業、登山、川遊びなど自然体験を満喫 してもらいます 、と誘います。さらには満天の星空の下、提 昼間は、先人の知恵や苦労を身体で学ぶ 物の大 を実感

晩中語り合っています。自分で行動しな 塊の世代は、赤々と燃え盛る炎を囲み、 と何も生まれない場所で、大人も子どもも と何もできない不思議な空間、 育った昔を思い出し定期的に利用する団 協力しない



全景 (左より主屋





子どもたちの作業風景

必死になって汗を流しながら、事の成し得 た喜びを全身で味わっています。

時の所有者が書いていただいた一筆です。 中に充満する煙の中、 正七年講演会のため当地を訪れた折り、 創立された井上円了氏によるものです。 れている「俄護常仏」 テレビもない、電話もない、 の一帖は東洋大学を 座敷の床の間に飾ら 裸電球と家 大

る今の子どもたちに、 たらと願っています。 が、これからの生き方、 いかなくとも、ここでのささやかな生活体験 当施設のご利用を大歓迎いたします。 耐性の不足、 自主性の不足と言われてい 改めて百年の計とは 在り方の糧となれ

利用等のお問い合わせ先 (堀金家住宅奥会津・臣の郷長 堀金良臣

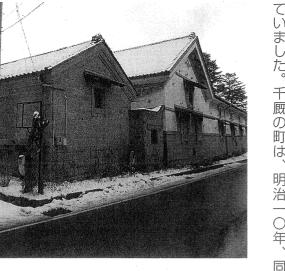
兀

六二一三四六三

29 文化庁月報 2005.6

千厩町は、岩手県の県南、

宮城県境に近



に竣工したものです。

横屋酒造の酒蔵郡

## 歴史を彩る蔵街道 地域の産業と文化財建造物

た現存例の少ない洋風事務所で、建築に際 強っちなみに、建物は明治二九年の専売法 まや街角資料館」として、葉たばこ産業に まや街角資料館」として、葉たばこ産業に まや街角資料館」として、葉たばこ産業に まや街角資料館」として、積極でしていま であるに、建物は明治二九年の専売法 の布により、標準設計に基づいて建てられ のではる のではる のではる のでは、明治三〇年建築の旧専売局千 二〇年、同二七年と三度の大火に見舞われ、また、昭和一五年にも大火があり、近世以来の宿場の景観がかなり失われました。現在の国道四五六号線沿いに面した建物の多くは、これらのた建物の多くは、これらの大火以後に建てられたものです。

が窺われます。文庫蔵や西洋館等は大正期が窺われます。文庫蔵や西洋館等は大正期と 佐藤家住宅の建物群は、土蔵造の景観形文化財となった横屋酒と、土蔵造の景観形文化財となった横屋酒と、土蔵造の景観形文化財となった横屋酒

の人々に親しまれ、地域活性化のパスポーに認定されました。文化財建造物などの歴に認定されました。文化財建造物などの歴を目指し、今歩み始めています。 を目指し、今歩み始めています。 登録有形文化財が地域の顔として、多くを目指し、今歩み始めています。





重厚なつくりの蔵

兼芸術文化係長 畠山篤雄)(千厩町教育委員会事務局教育次長補佐トとなる日を楽しみにしています。の人々に親しまれ、地域活性化のパスポー

街にあります。平成一六年六月二四日に国 の登録有形文化財となりました。 は昭和七年(一九三二)の竣工で、まだ武 迎えた日本を代表するモダニズム建築家 家屋敷地の風情が残る在府町の閑静な住宅 前川國男設計の建物が八棟現存しています。 その一つである処女作「木村産業研究所 青森県弘前市には、今年生誕一〇〇年を

隆三は、 設立資金を孫の木村隆三に託します。 術の研究と改良を図ることを目的に、 弘前出身の実業家木村清幽は、 津軽藩士で後に広島電力の社長を務めた 財団設立のため文化・産業の先進 地場産物技 木村 財団



竣工当時の木村産業研究所

#### 文化財建造物 としての未来 育んだ研究所

の姿を残し、使われ続けています。ちなみ けたいという思いによって、ほぼ当時のまま 研究所は、 竣工から七〇年以上が経過した木村産業 所有者の愛情と、 大切に使い続



内部 (撮影:三澤章)

を依頼します。 前川國男と出会い、 ル・コルビュジェのアトリエにいた若き日の パリへ社会事業の調査に訪れ、 木村産業研究所の設計 そこで

織ドコモモにより、

日本を代表するモダー

ズム建築百選にも選ばれています。

近代建築ファンがここを訪れています。

く知られるようになり、近年では県内外の

文化財登録を契機として、その存在は広

辺環境の記録調査と保存を提唱する国際組

に、モダンムーブメントにかかわる建物や周

横長のサッシュを中心にガラスで構成され 建物はエントランスホールから玄関にかけて 階建の真白い外装の建物が姿を現します。 建ち並ぶ城下町に、鉄筋コンクリート造口 入します。 学んだ近代建築の原理のすべてをここに投 陽光が差し込んでいるかのようにモダンで 行き届いています。 日い壁に映る日差しは、フランスの明るい 前川は、日本で最初の仕事として、 空間を作り上げるこだわりが細部まで 前川は室内に置かれた家具なども設計 そして、 本州最北の武家屋敷が 当時

助成を受けて、 世に残したいと考えています。 チーム」が結成されました。現在このプロジ を支えた、 含めた地元の有志により、弘前の地場産業 日本の貴重な遺産としての認識を深め エクトは、 ―マに「木村産業研究所調査プロジェクト 会」が発足しました。また、学識経験者を 地元では 今後はこのプロジェクトの成果を踏まえ、 木村産業研究所の徹底解明をテ 大成建設自然・歴史環境基金の 「前川國男の建物を大切にする 進められています。

(木村産業研究所調査プロジェクトチーム事務局長 小笠原真理子



落成時の記念写真

後

まれてきました。

生野鉱山は中世から本格的な採掘が始ま

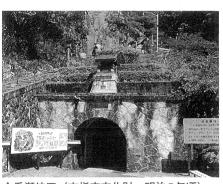
鉱山産業に根ざした人々の暮らしが営

には、 清掃などの活発な活動が続けられています。 が発足し と住民組織 条例のモデル地区に指定されました。 の町並みは、 の貴重な産業遺産が存在しています。 発が進められました。今日、鉱山官舎 鉱山としてフランス人技術者らによって開 鉱山で栄えた頃の面影を残す口銀谷地区 や工場群、 情報誌 貴重な資源をまちづくりに生かそう 景観まちづくりシンポジウムの開 「口銀谷の町並みをつくる会 平成一〇年に兵庫県景観形成 燻ぎる 水路や発電施設など数多く 明治に入ると近代化模節 の発行、 トロッコ道の 翌年



#### 鉱山町が賑わいを取り戻す 町並みまるごと博物館

現 在 いるほか、 地域住民による運営委員会が運営を行って り活動拠点施設として再整備されました。 井筒屋の吉川邸が町に寄附され、まちづく は一四件になります。最近、江戸期の郷宿 の登録や指定を積極的に進め、 進めるとともに、平成一四年からは文化財 カラミ石広場の整備や住宅修景助成などを また、地域内で修景道路や案内板の整備 「生野まちづくり工房井筒屋」では 蔵ギャラリーなどでのイベントや 現在その数



(市指定文化財 明治5年頃)





生野まちづくり工房井筒屋

現した「銀谷祭り」が開催されました。 定文化財で明治一九年の旧生野警察署や明 一四年からは、昭和の懐かしさを再 市指 晉 りました。 には朝来市合併後の登録文化財第一号とな 特産品の開発販売も行っており、 今年六月

録文化財の旧海崎医院や松本家住宅、

平成

道各地の活性化が進められています。 の鉱石運搬道路も などの複合ネットワークによるオープンエ 石の道」を舞台として、産業遺産や町並 た、生野鉱山から姫路飾磨港までの明治 ア・ミュージアムが計画されています。 養父市の明延鉱山の三鉱山を相互に結ぶ「鉱 現在、 朝来市の生野鉱山と神子畑 「銀の馬車道」として沿 鉱 Ш

客が訪れました。

展開され、

市街地には当日二万人近い観光

なイベントが住民の主体的な活動によって 治九年の旧鉱山官舎などを舞台にさまざま

る町並みに加え、 す。 生かした個性あるまちづくりを求めていま な遺産を積極的に活用し、 (朝来市教育委員会社会教育課副主幹 た賑わいを取り戻そうとしています 時代の潮流は、 かつての鉱山町は、 地域の歴史や文化特性 鉱山にかかわるさまざま 文化財建造物の残 次の世代に向 宮崎隆史

甲府盆地の東端に位置する勝沼町は、

どうとワインの町です。 ワイン醸造の歴史は、 続くぶどう栽培の歴史や明治一二年以後の この町に残しました 周知活動に努めてきました。そして、明 勝沼町は、 平成八年の登録制度創設より 多くの近代化遺産を 広報や見学会を行 江戸時代以前から

始しました。大正六年造の勝沼堰堤は 県指定文化財となり、 治三七年造の宮崎第二葡萄酒醸造所は山梨 これを積極的に活用し、 年度より文化庁と協議しながら山犁 修理管理の支援を開



#### とワインの郷を支えた近代化遺産 新たな出発

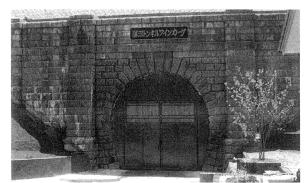
公開も開始しました。

隧道の二本をJR東日本から払い下げても 力ある観光地づくりモデル事業」の認定を 業として実施できることになりました。 どなっていた中央線の大日影隧道と深沢 同時に、明治三六年に開通し、その後廃 このうち深沢隧道一・一㎞をワイン (貯蔵庫) として再整備し 本年五

を行い、 始まりました。 友の会による公開活用が より、 整備事業として修復整備 田中銀行社屋および土蔵 建設された擬洋風建築旧 整備が続いています。 県塩山土木部による修復 明治三十年代初めに 農水省の田園博物館 所有者から寄付を受 旧田中銀行博物館 平成一五年七月 ま

構想」として集約し、山梨県が進める まちづくり/勝沼タイムトンネル一〇〇年 材に実施した「産業観光・産業ツーリズム 域関東圏産業活性化センターが勝沼町を題 による地域活性化方策に関する調査研究 ぶどうとワインのまち・近代化遺産による (平成一六年三月に報告書刊行) 勝沼町は、財団法人広 さらに国土交通省の都市再生モデル事 を受け 魅

歩きながらぶどうとワインの歴史文化と味 年ころの葡萄酒貯蔵庫 今年一〇月には遊歩道として蘇ります。 月から利用、 を体感できるまちを目指しています。 在する近代化遺産を結び遊歩道を整備 備公開、中央線隧道の登録推進と歩道とし 補修工事を条件に実施されることになり しての利用申し入れがありました。これは 水道企業団より、水道本管を通す水道橋と である祝橋は、 て見学できる環境整備を予定しており、 今後は、 また昭和六年造のコンクリートアーチ橋 本年から来年にかけ、 勝沼町を含む峡東地域広域 (龍憲セラー) 明治三 の整





(勝沼町教育委員会生涯学習課

室伏

徹

旧国鉄宮原線は、昭和一二年から昭和五

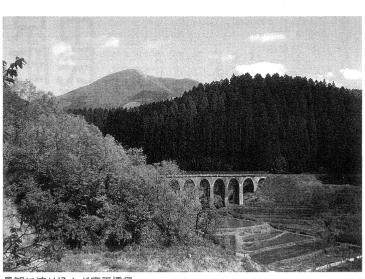
では 肥後小国駅~旧麻生釣駅間)には七つのコ 国の登録有形文化財に登録されました。 込んでいます。平成一六年三月、これらは 約二六・六㎞を結んでいました。 ンクリートアーチ橋が点在しています。 九重町) 九年の廃線まで、久大本線恵良駅 廃線跡地の熊本県側、 「竹筋橋」と呼ばれ地域の風景に溶け と肥後小国駅 (熊本県小国町) 約一一·八m (大分県 旧 0

年ころに始まり、 鉄道の工事は戦時色の濃くなる昭和 鉄鋼の利用制限もあって

える」ことを活動方針にしました。

また、平成一五年には跡地活用に関する

全四回でのベニ〇〇名近くの参加がありま 町内住民主体のワークショップが行われ



地域資源としての近代化遺産

Ŋ

民にとっては長くなじみのあるテーマであ

今後小国町全体でのさまざまな活動

「宮原線」というキーワードは、地域の住

イベントスタッフとしても活躍しました。

した。彼らの多くは、

自主的な跡地整備

支えになっていくと考えています。

#### 旧国鉄宮原線の橋梁群

その 昭和 され、 体が国立公園として指定 「渓谷、 しかし、それ以外の背景 として昭和九年に阿蘇 小国でも湧蓋山が 部となっており

梁の活用」ではなく「跡地全体の活用を考 地域づくりを行う財団法人学びやの里の地 委員会が発足しました。 の里を事務局とする跡地活用のための検討 域資源調査により再発見されました。そこ まりほとんど顧みられることのないまま放置 されていましたが、平成一四年、小国町で 管され、 して活かす取組が始まり、財団法人学びや として利用されながらも、廃線後二〇年あ 熊本側の跡地は、平成九年に小国町に移 あらためて「地域と地域を結ぶ軸」と その一部をマウンテンバイクコース 検討委員会では

をつくり、それらの人々をつなぐ役割を果

多くの住民が地域に目を向けるきかっけ

たす宮原線跡地およびコンクリートアーチ

造られたとされています コンクリートアーチ橋が

事中の幸野川橋梁 現在の幸野川橋梁の中央部

使ったということも工事従事者などから伝 えられており、土木史的にも注目を集めて 土木技術者が景観に考慮したこともうかが える」とあることから なアーチを設け美観を添 い知れます。また鉄筋の代わりに「竹筋」を 二年当時の新聞に 小川等にはモダン

います。

33 ●文化庁月報 2005.11

すことができるのではないでしょうか。

(財団法人学びやの里研究員 嵩和雄

ではなく、 橋梁群は、

「地域の宝物」として未来に活か 単なる「モノとしての文化財

地元の 館や富士屋ホテルという洋風宿泊施設を始 らには文化人や政財界人の別荘が箱根の地 た。交通基盤の整備が進むにつれ、 から芦ノ湖畔まで人力車道が開削されまし に次々に建てられました。 による近代的道路開削の提言から始まりま 箱根の近代化は、 環翠楼や福住楼といった和風旅館、 明治八年から三七年にかけて、 「足柄新聞」 に掲載された福沢諭吉 明治六年(一八七三)、 福住旅 小田原

現役として、 これらの建物の多くは、 別荘は経営の形を変えながら 旅館、 ホテルは



小涌園貴賓館の探訪会

#### 箱根の近代文 幂

なく、

参加者は神奈川県内ばかりではなく、

東

埼玉県、

千葉県、

西は静岡県と

今では、毎日「ヒストリカルツアー」と称し 愛着を覚えたりという効果もでてきました。 明できるようになり、 を多くいただけるようになりました。 つき、内容も充実して、 声が聞けてよかった」とのお褒めの言葉 宿泊者を対象に館内案内を行う施設も 多くの社員の方々が積極的に学び、 参加者からは

化財となり、 けて、 きました。その後、 も今日まで受け継がれて が図られています。 )建造物調査の成果を受 、県や箱根町による各種 次々に登録有形文 保存や活用 神奈

より、 いては、活用方策として 行政と所有者との共催に 登録を受けた当初にお 大学の先生や郷土

そろもに

や社員の方々に保存の苦労話や歴史のエピ 指摘を受けました。二年目からは、 善をしました。最初は、説明が拙く、 難し過ぎて、実感が湧かない」といったご 史家を講師とする探訪会を開催しました。 たどたどしくもありましたが、徐々に自信が ソードも交えて説明をしていただくように改 かし、 また、参加された方々からは 探訪会開催時に所有者の主体性が 自分の勤める施設に 所有者 一話が さら また う盛況を呈しています。地元である箱根町 多くの方々が申し込まれ、毎回、抽選とい あるくらいです。 ありでしょうが、 ています。まだまだ道程は遠く、山あり谷 ように仕掛けていかなければならないと感じ となり連携し、 着を覚えていただけるようになりました。 近隣の方々からも登録有形文化財に対し愛 からの参加者も多く、この探訪会を通じて、 は東京都、 た登録有形文化財の所有者が、

今後は、行政を扇の要として連携してき

活用方策を展開していける

自らが主体

環翠楼の探訪会

士屋ホテルの探訪会

33 ●文化庁月報 2005.12

心を一つにすることこそ

るものと信じています

(こゆるぎ環境・文化研究所

伊 藤

潤

登録有形文化財の保存や活用につなが

啓発事業を積極的に展開しています 化遺産の全国一斉公開をはじめとする普及 代化遺産の日」と定め、 平成九年に組織された「全国近代化遺産活 年に工部省が設立された一〇月二〇日を「近 用連絡協議会 近代化遺産の所在する市町村などにより (略称:全近)」では、 今年度より、 明治二 近代

間にわたり、 です。近代化を進めた織物・染色関係のノ 成四年の市議会において、 エやアトリエ、 くの先進的な活用事例がみられます。 コギリ屋根工場が約二五〇棟現存し、 フォーラムを開催しました。桐生市は、 「近代化遺産拠点都市宣言」を決議したまち 全近では、 平成一七年一〇月二九・三〇日の二日 協議会会長都市の桐生市で 「近代化遺産の日」制定を記念 美容室、 幼稚園など、 全国に先駆けて 数多 カラ 11/

評価することの大切さが指摘されました。 近代化遺産の活用には、 物課長の宮澤智士氏による基調講演では を描きながら、 まりの参加者を迎えました。元文化庁建造 工学部同窓記念会館を会場に、二〇〇名あ だけでなく、 一日目は、国登録有形文化財の群馬大学 それらをとりまく風景や環境も 建造物としての近代化遺産 まちに息づく物語

絹のまちからの文化の発信

市 代化遺産」では、 続くシンポジウム「絹の道をささえた沂 横浜市からパネリストを迎え、 桐生市、 松井田町 養蚕 富田田

## 近代化遺産の日記念フォ

製糸、 近代化を牽引した 化を運んだ道であり、 れからの展望が討論されました。 織物業、 「絹の道」は、 ポジウムの様子

味は、現代の生活・産業にも密接に結びつ 脚点から、まち・産業が果たした役割とこ いていることが議論されました。 貿易という、それぞれの立 近代化遺産がもつ意 文明・文 我が国の

されました。

リ屋根工場の活用連絡協議会の発足が宣言

や歴史的町並みを活かしたまちづくりのモ

デルケースとなる取組を実践すべく、

ると指摘されました。

最後に、

近代化遺

有者、 いくことがまちづくりの機運の向上につなが 幅広い世代が近代化遺産の活用に参画して を活用しているアーティストなどが討論に参 つくり」 基にした座談会「近代化遺産の活用とまち 会場に、 二日目は、市指定重要文化財の有鄰館を 地域コミュニティの拠り所としても まちづくり団体、 が行われました。近代化遺産の所 ノコギリ屋根工場群の調査報告を ノコギリ屋根工場



座談会での討論

上毛電気鉄道西桐生駅舎でのイ

ことであり、そのためには、 くことこそが、 全近は、 携協力が不可欠である、 者をはじめ、 心の中に響くものを大切にし、 ての活動を推進していきます。 したのは、「モノ」文化では感じられない 二日間のブォーラム全体で参加者が共有 今後も積極的にネットワークとし 市民、行政、 近代化遺産の活用を考える ということでした。 NPOなどの連 所有者・ 形にしてい 管理

(全国近代化遺産活用連絡協議会事務局 財団法人日本ナショナルトラスト 土井祥子

都」と呼ばれています。 自然と歴史、 そびえ南は有明海に面しています。 ぼ中央部に位置し、 刈町が合併して誕生しました。 城郡四町の小城町、三日月町、 佐賀県小城市は平成一七年三月一日に小 文化に恵まれて、「九州の小京 市の北には天山山系が 佐賀県のほ 牛津町 豊かな

# 県内最多の七件の国登録文化財

物で所有者や地域の人たちによって愛され 財は小城の歴史を物語るシンボル的な建造 と「牛津町会館」です。 知られていますが、羊羹の砂糖蔵として造 守り伝えられてきました 実業家田中丸家ゆかりの が特徴の「天山酒造」、商都旧牛津町出身の 年間創業の 岡総本舗羊羹資料館」、 られ現在は羊羹造りの道具類を展示した 有形文化財があります。 される「日本福音ルーテル小城教会」、 ィリアム・メレル・ヴォーリスが設計したと 〔家住宅主屋・土蔵」、アメリカ人の牧師ウ さて、市内には県内最多の七件の国登録 「小柳酒造」、現役の巨大な酒蔵 江戸時代の町屋 これらの登録文化 小城は小城羊羹で 「牛津赤れんが館 文化 村

# 登録文化財を活用した多彩なイベント

たさまざまなイベントが開催されました。 これらの国の登録文化財を活用し

九州の小京都

主催による七件の登録文化財を回る「史跡 月三日 (祝) は小城郷土史研究会の

> 小城の再発見 秋の 斉公開と多彩な活

や構造について詳しい話がありました。 職員による解説がありました。建物の歴史 探訪バスツアー」が行われ、佐賀県文化課

の試食も行われました。 お酒も堪能することができました。村岡総 酒の試飲も行われ、歴史に触れるとともに 組み込まれ、 山酒造、 舗羊羹資料館では抹茶のサービスや羊羹 「JR九州ウォークラリー」が行われ、 一一月六日(日)にはJR九州主催によ 村岡総本舗羊羹資料館がコースに 数多くの人が訪れています。 天 お

会場に行われバイオリン・ピアノコンサート さと芸能ひろば」 主催による地域資源活用事業として「ふる | 二月四日 (日) には佐賀中部広域連合 一が小柳酒造の高砂本蔵を

(小城市教育委員会文化課文化財保護係

古庄秀樹





JR九州ウォ



ふるさと芸能広場(小柳酒造)

「二一世紀に残す佐賀県遺産」に や「佐賀にわか」の上演があり、バイオリン の音色や笑い声が酒蔵に響きわたりました。

観上貴重な建造物であるとして、この七件 化に触れることができる町並み博物館群と の国登録文化財をこれから小城の歴史・ の国登録文化財が認定されたのです。 討しています なさんと一体となって活用していくことを検 して、所有者のみなさんをはじめ市民のみ 一世紀に残す佐賀県遺産」に、文化的、 た。平成一七年度に佐賀県が立ち上げた「I さらに、 昨秋にすばらしいことがありまし

本州最西端に位置する山口県下関市は

平成一七年二月に隣接する豊浦郡四町と合 ま」をご紹介します。 た。また、平成一七年一〇月に中核市へ移 行しました。そのような下関での、 と農村部に見られる登録有形文化財の 新しい下関市としてスター トしまし 都市部

は、 ていますが、 和初期にかけてもっとも栄えました。ここで り早くから港が拓かれました。 産を目にすることができます 港地や朝鮮通信使の迎接地としても知られ 市街地の唐戸地区は、 往時の様子を物語る数多くの近代化潰 港町としては明治中期から昭 恵まれた立地によ 北前船の寄

平成一三年八月に登録有形文化財となっ た下関南部で

町郵便局庁 今日も多く の人々が窓 関郵便電信 電信 口を訪れる 一つです 局)もその (旧赤背が間が

図るかが積年の課題でしたが、この光景に

にも稀なのではないでしょうか。



**下関からの文化の発信** 

どれもその土地や建物を大切に思う気持ち

下関での活用はさまざまなかたちですが

から生まれたものです。地域に注がれるこの

歌野清流庵での餅つき

喫茶室やギ は 現役最古の 局

## 港町と農村の個性を伸ばす

財をめぐるスタンプラリーなどが行われまし た。多くの近代化遺産の連携をどのように 国領事館、 護國寺本堂(登録有形文化財)、旧下関英 戸を舞台に、下関南部町郵便局庁舎のほか、 会実行委員会」が有志により結成され、 公開事業」では、 も使われています。 ヤラリーに、ときには結婚式の会場として 昨年行われた「登録有形文化財全国一斉 山口銀行旧本店など周辺の文化 「下関登録文化財を楽しむ 唐

中ごろの入植により始まった楮栽培集落の 域の谷あいにある歌野清流庵は、 **面影をいまに伝える建物です。平成一七年** ひと筋の光明を見た気がしました。 七月に登録されました。 唐戸地区から三〇㎞ほど離れた旧菊川町 江戸時代

歌野地区の集落景観は昭和五〇年代のダ 活用が、 っていくよう願ってやみません。 ることを、また、 ようなやさしいまなざしが、市全体へと拡が



南部町郵便局舎 (撮影:吉岡一生)

ど、歌野にしかない活用のかたちは全国 清流庵は農機具等の展示を行う郷土文化保 事や定期借家方式での賃貸契約が加わるな 地元住民団体を主体とする「歌野の自然と 化を体験・伝承する場として活用されてい に大学の協力による耐震補強を含む改修工 ふれあう会」によって支えられており、 ます。この活動は四○年近く前に発足した 寄りがともに田植えや稲刈りなどの農業文 存伝習施設を経て、 現在は子どもからお年 そこ

護國寺本堂での講演会(撮影:浦

(下関市教育委員会文化財保護課 髙月鈴世

ム建設でその大半が失われましたが、歌野

旧市町間の理解・交流へとつなが

各々の登録有形文化財の

り」というテーマに取り組み、文化財本体 保存活用の環境を整備しています を守ること、保存の担い手を育てることで 松山 帯は、 「文化財を生かしたまちづく

知識を深めて研究意欲を高め、 魅力を体験し、 化財サポートの会」 の必要性を痛感した受講生が「まつやま文 文化財へのあこがれとともに、維持・保存 財に対する啓発活動を行っています。 かかわる催しにガイドやサポートをし、 した。現在、 に文化財講座が開かれ、その中で芽生えた イド用手引書や会報を発行するなど: この趣旨に基づいて平成一三~一六年度 ①清掃活動を通じて文化財の ②見学会や勉強会によって を自主的に立ち上げま ③文化財に ④ ガ

松山市教育委員会が文化庁の全国一斉公

民が親しみをもっている建物です。

務を行いました。四件はいずれも現役で、 当会は市内に所在する登録文化財の案内業 登録文化財めぐり」を実施するにあたり

市



愛媛大学附属中学校講堂

#### 登録文化財建造物め 松山の古くて新しい顔

開に協賛

バスツアー

「まつやま

国の

学者・安倍能成の書になるものです。 げられた『章光堂』 学附属中学校講堂として受け継がれ、 目指した「松高」 風を表すように端正です。大正デモクラシ 見板張りの外壁と縦長の上げ下げ式窓は校 関がギリシャ・ローマ風の円柱八本を配置 等学校講堂 教育に貢献しています。 の中にあって、 たシンメトリーの洋風建築で、ドイツ下 愛媛大学附属中学校講堂(旧旧制松山高 (大正一一年建築) は、 自治と自立を尊ぶ理想を の伝統は、 の額は、 玄関ロビ 戦後、 郷土出身の 愛媛大 正面玄 一に掲 郷土 哲



鍵谷カナ頌功堂



による設計です。

宮大工を父

気鋭の建築家である木子七郎

和四年建築)は、

当時の新進

建築)と鍵谷カナ頌功堂

石崎汽船本社

(大正 =

年

愛媛県教育会館

りました。松山出身の実業家

入れた斬新な建物を数多く造

子は、

欧州の建築技法を採り

卒業し、パリにも滞在した木 にもち東京帝国大学工学部を

荘」(「愛媛県庁舎」)が現存しています。 品は数多く、 松山藩主の久松家別邸 の娘婿であり、 市内に彼の作 「萬翠

か。 栂や桜の材が使用され、 いものです。 財の真価が発揮されるのではないでしょう 面も加味、 ともに、その雰囲気や状況、内容が人々の 優秀な建築技術を文化財として伝え残すと 組み合わせた特徴的な意匠をもち、 心をいかに涵養してきたかというメンタルな 建築の技術などハード面を重視しがちです。 など洋風意匠を基調に、 大屋根はいわゆる帝冠様式によるものです。 愛媛県教育会館 建物を文化財として評価するとき、 ガイドをするにあたって、常に留意した 考慮されてこそ燦然と輝く文化 (昭和一二年建築) 縦長の上げ下げ窓 和風装飾を巧みに 和風の 形や は

(まつやま文化財サポートの会代表 大上正善 材で構成されており、

昨年の九州の駅弁ラ

郷土色豊かな食

い川』と銘打った駅弁は、

ンキング第三位に入った人気商品です。

駅弁、

焼酎、

地元の特産品などが販売され

心となって嘉例川ふれあい館をオープンし

平成一六年には地元農産物の生産者が中

ています。

なかでも「百年の旅物語

ます。 物を核として、 ます。ここにその代表的な二例を紹介し があります。 鹿児島県には現在二三件の登録有形文化 さまざまな活動が始まって 地域に浸透したそれらの建

#### 0 鉄道ファンを中心に根強い人気を誇ってお 設された駅舎です。建設当時の姿を伝え JR肥薩線嘉例川駅駅舎 明治三六年の隼人~吉松線開通に伴い建 週末には多くの方々が訪れます。 (霧島市隼人)

JR 肥薩線嘉例川駅駅舎

#### 鹿児島県の登録文化財め 地域活力を呼び覚ま g

「かれ

され、 白金酒造石蔵」です。 また、

に関する特別展を開催するなど、 Cなって普及活動に取り組んでいます。 また、 平成一六年には耐震補強や外装工事がな 昨年は地元小学校の運動会で凱旋 町の歴史民俗資料館で凱旋門 官民 体

のこと。 売しており、地元の人々の集 方々は いの場にもなっています」と た。生産量を少し増やして販 いう思いからオープンしまし かおもてなしができれば、 くから見にこられる方々に何 131 n あい館で働く地元の 嘉例川駅駅舎を遠

りをしたりと、常に管理が行き届いており. 訪れる方々を気持ちよく迎え入れています。 方々がボランティアで花を植えたり、 山田の凱旋門(姶良町山田) 駅舎周辺は、 地元長寿会の 草川

行われた建立一〇〇年式典では、

一五〇名

先日

を超える方々が集い、

凱旋門の下で凱

旋

あ

ど、地域の顔として浸透しています。

門を模した杉の葉アーチがお目見えするな

石造の凱旋門としては全国で唯一です。 記念して明治三九年に建設され、 日露戦争に従軍した人たちの無事帰国を 現存する

> 棒踊りが踊られるなど、 にまつわる話が語られ、

> 実に盛大でした。 地元の伝統芸能

焼酎 門と同時期に登録された地元の酒造会社の 好評を得ています。 プが中心となり、地元産の米を使用した 登録をきっかけに、 「山田の凱旋門」 ちなみに、 地域の村おこしグル を製造し、 製造は凱旋 愛飲家の

が多くなり、 思っているところです」とのこと。 は思っていませんでしたので、国の文化 でもあり、 綱引き、夜学、肝試しなど、地域の遊び はこの建造物がそんなに意義のあるものと と、「昔はよく凱旋門に登ったり、 て活用されることを、 に登録されてたいへん驚き、また、うれしく 国の文化財に登録されてから見学の方々 地元で凱旋門を見守ってきた古老による 教育の場でもありました。 今後 層、 十五夜の

当時

(鹿児島県教育庁文化財課文化財研究員 期待しています。 地域活動の核とし 桑波田武志





「百年の旅物語 駅弁 れい川川



焼酎「山田の凱旋門」

#### 登録有形文化財建造物との歩み 第27回

見えますが、 は清潔な印象を与えます。 の町はにわかに盛況を見せています。 財が残されたまちです。今年は、 西洋建材の使用や、八角形の明かり窓を配 鉄筋コンクリート造三階建、 によるお木曳き行事が行われており、 する等、 に神都博覧会跡地に建設されました。 ある近鉄宇治山田駅は、神宮参拝の利便や 「域の将来的発展を期するため、 -の神宮式年遷宮をひかえ、市民等の奉什 さて、 伊勢市は古来より神宮を中心として発達 長い歴史と深い伝統による多くの文化 電車で伊勢市へ。玄関駅の一つで 細部意匠が建物に品格を与え、 スパニッシュ瓦、 クリーム色を基調とした外壁 一 見シンプルに 塔屋付、 テラコッタ等 昭和六年 平成二万 鉄骨 伊勢 間



近鉄宇治山田駅

#### 登録文 力源 伊勢 域の新たな活

れた人々に親しみを感じさせます。

用して、 ちで「伊勢の台所」と称されました。 通りからの眺めは三角屋根が続く独特の町 時代には全国から多くの参宮客が訪れまし 市中央部を流れる勢田川沿いに発展したま たが、そのもてなしのための物資は水運を利 に面した黒壁の蔵を有する商家が建ち並 たところに河崎と呼ぶ地域があります。 方、宇治山田駅から五〇〇mほど北進 妻入家屋という伊勢の習わしもあり ここ河崎を拠点に流通しました。 江岩 本

現在では、戦災による焼失等 の精進落しの場として、江戸 の妓楼が建ち並び、 古市参宮街道があります。 によりかつての風景をとどめ 遊郭の一つに数えられました。 の吉原・京の島原と並ぶ三大 つてこの街道の両脇には多数 宇治山田駅を降り立ち、 (内th 宫) へ向かうル 参宮道者 ートに か 袖

雄が来勢した際には、 ます。麻吉旅館は嘉永四年(一八五一) ていたことでも知られます。 木造建築で、懸造と呼ばれる特殊な構造で 業とされる料亭で、現在も旅館として営業 ていませんが、わずかにその面影が残ってい しています。 憲政の神様と呼ばれた政治家・尾崎行 傾斜地に建設された五階建の この旅館を常宿とし 創

PO法人へ委託し、年中開かれるさまざま

管理運営は地元でまちづくり活動を行うN

な催しでにぎわいを見せています。

このほかに神宮徴古館、神宮農業

館が

等

当市には多くの登録有形文化財建造物があ

今後も増加する見通しです。

さまざま

残っています。 氾濫による災害以来、少しずつ変化してき 並み景観を呈していました。 ましたが、 昭和の





代表的商家の一つで、 等で構成される伊勢河崎商人館は、 くり活動の拠点施設として活用しています。 それでも各所に歴史的町並みが 広大な敷地に主屋、 現在は、 市がまちづ 蔵七棟 当地 勢田 111

伊勢河崎商人館

(伊勢市教育委員会文化振興課 文化財係 古川 毅

う努めていきたいと考えています。

れら郷土の文化遺産を後世に伝えられるよ な魅力が残るまちとして、かけがえのないこ 部建築の三大機能を備え、

食堂が一

階、

階の貸店舗を創業当時の内装に復原

禁酒会館の再生に着手しまし

屋台村形式にして、コーヒーシ

倶楽

酒運動をする人たちの倶楽部として、 会館のほかにはどこにも存在しません。

会場が二階、

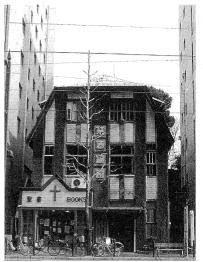
宿泊室が三階

階食堂の 二〇銭の

昭

平成 成瀬才吉氏と河本正二氏が、 が募ってくると、悩みを飲酒に逃れる人が 白色タイルの大正ロマンの香り高き建物は ンボルとして存在し続けました。 ○年の大空襲をくぐり抜け、 禁酒会館は岡山市中心部に建設されました。 長次郎氏を設立委員長とし、 会情勢でした。これを憂いた禁酒運動 増えてきます。 以来八十余年、昭和九年の大水害、 世の中、 「禁酒会館」という建物は、 「岡山禁酒会館」の建設に乗り出しまし 多くの人々の協力を得て、 腰折れのマンサード屋根、ドイツ壁と 一四年に国の登録文化財になりました。 景気が悪くなったり、 大正一〇年ごろもそんな計 この岡山禁酒 禁酒運 禁酒運動のシ 資産家の綱島 大正一二年 木造三階 社会不安 動 が拠

第28回



## 禁酒会館の保存と

活力みなぎるまちの顔 和初期には市民、旧制第六 カレーライスは評判で、 五銭のコーヒー、 しました。 協力を得て、 酒運動の費用、 団法人であり、 は貸室に改装されています。 階は貸店舗、二階は集会室 めたということです。 高等学校生たちの人気を集 ねばなりません。 施設は不振となり、現在 にありました。一 と管理人室、 平成一四年には街を活性化するNPOの 時代とともに食堂、 これをうまく運営して収益を確保し、

建物の保存修復をしていか

等のイベントを実施し、これがテレビ、 の復活」、 ョップほか数店に入ってもらいました。 念イベントとして式典のほかに禁酒会館 に岡山城の石垣がバックにある裏庭を整備 歴史資料の展示会」、 平成一五年は会館設立八〇年であり、 イベント用ステージを造りました。 ワークショップ「屋根裏探検隊 昔の 「ライスカレ 新聞 同時 記  $\mathcal{O}$ 

でのイベント風景

ーショップ

集会場の使用料収入も増えました。 禁酒会館でのイベント実施希望者も増え、 問者が大幅に増加しました。それとともに などマスコミで報道され、 に伴い、 懸案であった大屋根の修理、 禁酒会館 収入増 漆喰 の

建物そのものが基本財産で

禁

禁酒会館は財

資料室、三階

宿泊

禁酒食堂内コーヒ

援助活動も実施しております。 の塗替え等を行うことができました。 る断酒相談のほかNPO法人の断酒会への 禁酒活動としては、土曜日に行われてい

生を図っていきたいと考えています。 の生き方を守り、 問題があります。しかし、 来の目的に沿って運営していくのは困難 シンボルとしての存在価値がありますが、 た人々の情熱をくみ取り、禁酒会館として 禁酒会館は、 建物そのものが禁酒運 収益をあげ、 その中で創業 さらなる再 動 本

(財団法人岡山禁酒会館理事長 玉井義郎

市川

市新田にある西洋館は、

私の祖父渡

ルを作りたいと思

坪の市川別荘を建てました。 も務め、 むかたわら日本橋区議会議長や衆議院議員 です。祖父は株式仲買人丸水渡辺商会を営 **邊善十郎により昭和二年に建てられたもの** 関東大震災後、この地に約八〇〇

閉店したことに心を痛めていました。そこ 巴里」や小劇場「渋谷じゃんじゃん」 分の好きなシャンソンのコンサートを開催し 館倶楽部」と名づけて開場しました。 かたちで小さな音楽ホールを建築し、 に置きながら、 で、こうしたライブハウスのような音楽ホ シーをもった老舗のライブハウスが相次いで 低料金で良質なものを聞かせるというポリ ました。私は当時、シャンソンの殿堂 ホールとして必要な機能を備え、当初は自 赤い三角屋根の洋館の保存と活用を念頭 一〇年前: 洋館に附属する など、 一西洋 音楽



#### 西洋館倶楽部の保存と 馬

第29回

らに歩 む ます。 多くなりました。平 サートが行われてい ゆるジャンルのコン ました。現在はあら 注いでおり、文化財建造物の保存と活用の 会など、コンサート るレトロブームもあ 以外の利用申込みも って、撮影会や見学 助となっています。 また、洋館に対す ちなみに、

市川市も

か、

サラリーマンの私にとっては楽しくもあ

大変な仕事でもあります。

みの人気歌手です。若手人気歌手の普天間 時代に合わせた衣装で訪れるお客様も多く 面をスクリーンとした洋館の映画館となり 声映画鑑賞会があります。ホールの白い壁 メイド服のスタッフも入って盛り上がりま ると、まず、ピアニストの柳下美恵さんの無 く公演してもらっていますが、 最近のイベントやアーティストを紹介す またシャンソン歌手のクミコさんは数多 いまやおなじ

アム構想」として点在する歴史的建造物の 成一〇年に国の登録有形文化財に登録され ネットワークを構築するなど文化面に力を ィアでも取り上げてくれるようになりまし たことを機に、テレビや雑誌など各種メデ 「まちかどミュージ ッフの一員として音響や照明を担当します のアーティストもいます。私もステージスタ のように年二~三回のライブを続ける常連 麗子さんやカンツォーネのケン・アマドさん いファンであふれています。オペラ歌手の橘 かおりさんの公演も恒例になり、 松岡誠一郎さんのコンサート

サロン風の1階ホ

朩

ールは若

の保存と活用にがんばります。 が多くの人に愛される建物となるよう、 剪定しました。これからも「西洋館倶楽部 保存の見直しが必要な時期にきています。 の補修工事をしましたが、そろそろ全体の て容易ではありません。約一〇年前に全体 「蔦の絡まる洋館」の蔦も、 個人で文化財を維持していくのは、 今年はずいぶん

(いちかわ西洋館倶楽部オーナー 渡辺俊司

キーワードに沿って紹介します。 の登録文化財建造物の主なものを、 うイメージを核に、シティプロモーションを 推進中です。そこで、 行を控え、市では田園都市の象徴としての 置します。平成一七年に周辺一三市町村と 濃川と阿賀野川が日本海に注ぐ河口部 食と花」と古くからの「みなとまち」 現在、 新潟市は、 平成一九年四月の政令指定都市移 人口八一万の都市となりました。 本州日本海側のほぼ中央、 市内二四か所、 ا ارا 八五

るのが、 の両方で三三件が登録されています。 は本館 邸宅を利用した北方文化博物館です。 市となった新潟の歴史を語るうえで欠かせ ないのが「豪農の館」です。それを代表す |食と花」、耕地面積日本一を誇る田園都 登録文化財では千町歩地主・伊藤家の (沢海二)と新潟分館(南浜通二 重要文化財では旧笹川家住宅 特に 同館



北方文化博物館三楽亭 (財団法人北方文化博物館提供)

## 新潟市の登録文化財建造

亭は一見の価 の畳を敷く三楽 ありです。 の間取りで菱形 築された三角形 明治二四年に建

の主屋・明治期 また、大正期

荷谷) の土蔵が登録された農家・ 農園で有機栽培や地産地消に取り組んでま とを、 予約で地産の米を使ったおこわや餅な 主屋の囲炉裏端で食べられます。 は、 所有者が 「弥次郎農園」という 諸橋家住宅 (女

の一つに選ばれました。 北前船の その来歴を象徴する重要文化財旧新潟税 また新潟は、 一大寄港地で、 古代からの「みなとまち」、 幕末には開港五港

関庁舎(緑町、

敷地は国指定史跡)

の隣に

今野

誠

町支店は博物館の附属施設として が移築復原され、 あります。その敷地内に、 ターンする光景が見られます。 港で佐渡へ向かうフェリーが悠然と 横には信濃川が流れ、対岸の新潟西 る新潟市歴史博物館 に建てられた旧第四銀行住吉町支店 レストランとして活用されています。 「みなとぴあ」の愛称で親しまれ 一階の旧営業室が (柳島町二) 昭和二年 が

「食と花」と「みなとまち」



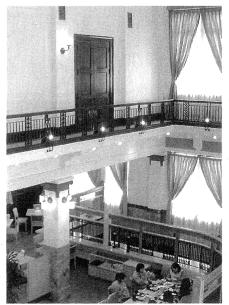
諸橋家住宅主屋 (弥次郎農園提供)

振興財団が管理しています。

指定管理者である財団法人新潟市芸術文化

ビルサービスが管理しています。 の建物は、 公園 た。 船問屋であった豪商・ 囲気の中、 された燕喜館 市民の憩いの場・白山公園内に移築再 明治四一年建築の上質な和風建築で の松や蓮池を借景とした落ち着いた雰 抹茶を楽しむことができます。 指定管理者である株式会社新潟 (一番堀通町) 斎藤家の座敷棟でし は、 かつて回

新潟市を「市民が誇り、多くの人が集い交流 泉旅館、 するまち」 も、こうした「まちの宝」の魅力を生かし、 ンルの登録文化財建造物があります。 (新潟市総務局国際文化部歴史文化課主事 このほか、市内には 醸造蔵、 にしていきたいと思います。 洋館など、さまざまなジャ 「花街」の料亭、 温



旧第四銀行住吉町支店

田市の取組を報告します。
田市の取組を報告します。
大牟田市は福岡県の南端に位置し、熊本別が、市内の各所に残る明治以降の炭鉱関連が、市内の各所に残る明治以降の炭鉱関連が、市内の各所に残る明治以降の炭鉱関連が、市内の各所に残る明治以降の炭鉱関連が、市内の各所に残る明治以降の炭鉱関連が、市内の各所に残る明治以降の大牟田市とも関係を表します。

## )旧三池炭鉱宮浦坑煙突

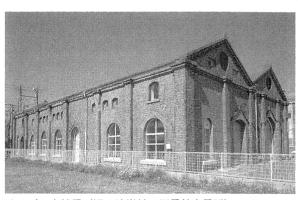
官営期の明治二〇年に開坑した宮浦坑は、官営期の明治二〇年に開坑した宮浦坑は、田和四三年に閉坑しました。このレンガ造煙突は明治二二年に民間へ払い下げられた後も主まり、蒸気を発生させるボイラーの排煙に使われていたもので、高さは三一・二mです。三池炭鉱の官営期の構造物として貴重であり、現在は宮浦石炭記念公園に保存さ



旧三池炭鉱宮浦坑煙突

## まちに息づく近代化遺産を生かす 大牟田市の挑戦

平屋建二棟並列の建物として建てられ、変 年には各坑口と三池港を結ぶ炭鉱専用鉄道 電所として炭鉱専用鉄道へ電力の供給を行 ○年建設の四山発電所の南隣に、 の電化が行われています。この施設は同四 時数多くあったこうした炭坑施設です。 れています。 設として解体を待つ状況でした。それを救 っていました。 と『炭坑節』に歌われた煙突のモデルは、 ●サンデン本社屋 大部分が廃止されたため、この建物も不要施 三池炭鉱の電化の歴史は古く、明治四 (旧三池炭鉱三川電鉄変電所 「あんまり煙突が高いので~」 しかし炭鉱閉山後、 レンガ造 鉄道の 当



サンデン本社屋(旧三池炭鉱三川電鉄変電所)



のすばらしさに感動さに出会うと同時に、そ機会が多く、この建物の電気工事を請け負う

思い切って買収

です。

もともと、

炭鉱

取

「締役·北川義法氏)

大牟田市役所本庁舎旧館

ましたが、適切な改

時は廃墟の観を呈して

たと聞いています。

●大牟田市役所本庁舎旧館の社屋および倉庫として使用されています。を失うことなく、現役

観がよみがえり、

現輝き

修により堂々とした外

大正六年に市制を施行した大牟田市は
大牟田市役所本庁舎旧館

在も市役所として用いられています。焼けましたが、これは戦火にも耐え抜き、現業筋コンクリート造四階建・棟屋五層の規機失した木造庁舎に代わり、昭和一一年に焼たした木造庁舎に代わり、昭和一一年に大正六年に市制を施行した大牟田市は、

の核となることを期待しています。れらの登録有形文化財が新たなまちづくり代化遺産の保存と活用を進めています。こ遺産保存活用基金」を設置し、さらなる近大牟田市では平成一八年七月に「近代化

(大牟田市教育委員会生涯学習課 坂井義哉

ったのは現所有者の株式会社サンデン(代表

からの伝統があります。智頭町では、

平成

八〇八)の条に記載があり、

奈良時代以前

智頭という地名は、『日本後紀』大同三年

ます。 区である昭和三〇年代の農山村集落 治時代以降、 藩参勤交代の宿場町として栄えました。 所一七件が登録されています。 録有形文化財制度を活用し、 原集落」の保存活用などの成果をあげてい の一般公開、 てられた建造物が数多く残っています。 くりを推進し、 〇年度から、歴史文化を生かしたまちづ さて、智頭宿は、江戸時代には鳥取池 現在の智頭宿内には明治・大正期に建 また、歴史的建造物を生かすため登 県選定伝統的建造物群保存地 古い町割りのままに発展を遂 町指定文化財「石谷家住宅 これまで九か 「板井 明  $\overline{\mathbb{H}}$ 



頭消防団本町分団屯所

#### 智頭宿の建造物保存とま 現役にこだわる

ġ,

繕

整備を行いました。

現在、

町民で結成

あり、 の中に、 院として建てられた後、大正終わりごろに 容と展開を見ることができます。 の造りであり、 れも外観は洋風の下見板張、 の公民館として使用されています。 して建てられ、 中町公民館は、大正一一年以前に個人病 下町公民館は、大正三年に智頭町役場と すべて国登録有形文化財です。い 大正~昭和初期の洋風建築が四棟 電報電話局を経て現在地区 智頭における洋風文化の受 内部は純和風

区の公民館として使用されています。 み活用の拠点とするべく、平成一二年に修 ました。 ちの文化教育、 の敷地内に教会として建てられ、子どもた は県内最初の幼稚園として使われ、 塩屋出店洋館は、昭和一〇年ごろに個人 (国登録有形文化財)とこの洋館を町並 智頭町は、 勉強の場として使われてい 明治期に建てられた本 現在地



下町公民館



中町公民館





塩屋出店洋館

い方も変えない取組を行っています。 防屯所機能の維持」を掲げ、建物の形も使 で建物の修繕について協議を行っていると 化していますが、今でも現役の消防屯所と 画記念館」として公開されています。 託し、 ころですが、基本的な取り決めとして「消 に建てられました。築六〇年を超えて老朽 された智頭宿まちづくり協議会に管理を委 て活躍しています。地区住民と町との間 智頭消防団本町分団屯所は、 智頭町出身の映画監督 昭和一六年 「西河克己映

の方法を模索し、 み・建造物を次世代に引き継ぐため、 できる限り建物の用途を変えない こだわる」まちづくりを行っています。 智頭町では、住民と協働し智頭宿の町 建造物の保存と同時に、 「現役に 最善 並

(智頭町教育委員会教育課

木田

真

受けて、 な土砂災害が発生しました。 重なる豪雨により地滑りを起こし、 格的な砂防事業が展開され始めました。 点にまで及んだと記録されています。 渓谷の田畑を埋め尽くし、田倉川との合流地 ンしは 倉川に注ぐ渓流の赤谷川 福井県嶺北地方を流れる日 、明治二八 治三三年から福井県における本 (年から三〇年にかけての度 (通 称 野 川の支流 0 「アカタ  $\pm$ これを /規模 砂

図 「アカタン砂防エコミュージアム」領域イメージ 奥の 「コア施設」(リトリートたくら) 東堰堤 情報センター・活動展示・研修 八号堰堤 会議・体験学習塾・レストラン アカタン発見の沢 林道 松ヶ端堰堤 大平口堰堤 ||/冶紫 「ベースキャンプ」(アカタンの家) キャンプ・舎営・炉端交流会・調査研究 「地域住民」(古木集落) 「宿泊施設」(ふるさと交流センター) 古老の語り部・記憶収集・農山 村の暮らしと民芸・民俗・習慣 宿泊研修・スポーツ・レクリエーション

#### 歴史的砂防施設とエコミュ・

の投稿掲載が積極的に行われていま

ウムやフォ

ーラムなどでの活動発表や

論

ており、

学際的

調

査研究のもと、

シンポジ

砂

溶け込んでいます。

も立派に役割を果たし

ながら、

自然景観に

った教育普及のための体験実習に

なプログラムが考案されました。

また、 ŧ

専 創 61

家との間にも良好な支援体制が形成され

た今で

業

体

験、

郷土料

理、

古典民俗踊りなどと

多方面 ドをつくり上げ 俗と都 域住 民が自主 た。 俗 ま 民と都 ਰੋ それにより 市の文化的情報との 地 12 形 |的に活動参加 わ 魅 たる 地質など多様性の 市住民との交流 力あ る地域 水辺の自然観察や農林作 得意技 砂防 資 源 生 地域の特性 をもった都 融合が図られ の発信により 物生 のあるフ 態 市

ました。 りで完成しました。 の登録有形文化財に登録され 砂防工事に着手し、 地に指定され、 カタン」 していることから に類をみない独特の特徴を有 /砂防] (堤と七基の石積堰堤は、 は、 築後一〇〇年以上が経過し 平成一 その第 同年 六年、 二基の十 から各種 ア 八年がか 期 カタ 施 他 玉

る活動を行っています。 結成された地元古木集落の住民組織 防 の歴史や風 富な自然環境、 防 と暮らしの会」 これら先人たちの遺産である を掘り起こしたのが、 現地保全とともに、 俗などを活用 です。 古老の記憶から収集した 同会は その背景には Ų 田 平成 連携が挙げら 1 倉川 独自性の ア 〇年に 周辺の カタン カタン 田 地  $\oplus$ 住 あ



アカタン砂防ハイク(奥の東堰堤)

周辺集落でも「アカタン」を手本とした活 動が行われている(高倉谷砂防堰堤の会)

らしぶ の会 防災 の語り部)そして 史的砂防施設、 本県を襲った (アカタン、 Ĺ 砂 こうした活動の積み重ねにより、 意識 物 防 を備えた「アカタン砂防エコミュージ が 館活動を展 りに学び 施設の遺産を継承し、 誕 が高まる中、 生しました。 田倉川、 「福井豪雨 民間風俗) 地 「住民」 開 元 集落) ーアカタン への愛着と誇 平成 (田倉川と暮ら لے を契機に住民の と「遺産」 先人たちの 記憶 一六年七月に では歴 領 0 うを育 域

む

(南越前町教育委員会学芸員

玉村

幸

的

る史跡や町並みが残っています。 ました。現在は、油津港の隆盛をしのばせある弁甲材(飫肥杉)は国外にも輸出されが回水揚げを誇りました。また、造船材である弁甲材(飫肥杉)は国外にも輸出されて 間前の「マグロ景気」を創出し、東洋一のマ 自南市油津は古くから天然の良港として 日南市油津は古くから天然の良港として

末に完成した運河です。藩の一大収入源で(一六八三)から二年四か月をかけ、難工事のる堀川は飫肥伊東藩主の命により、天和三年岸です。町の中を縦断するように流れてい護、北財に登録されている堀川運河とその護油津で異彩を放っているのが、登録有形

第34回



堀川運河と堀川橋

## ぶらり・のんびり・ゆらゆらり 港町・油津の発見

一八年一一月一一日には「赤レンガネット 一八年一一月一一日には「赤レンガネット では定期的にさまざまなイベントが催さ 市へ無償で寄贈されました。油津赤レンガ 市へ無償で寄贈されました。油津赤レンガ 市へ無償で寄贈されました。油津赤レンガ れ、市民の憩いの場になっています。平成 れ、市民の憩いの場になっています。平成

本級大級大級大級大級大型大



赤レンガネットワーク全国大会

保存が進められています。現在、堀川運河整備事業により、その再生見続け、人々に多大な恩恵を与えました。たりと蛇行する流れは三百有年余の歴史を

ワーク全国大会」

が開催され、

全国から赤

レンガの建造物を拠点として街づくり活動

実りある情報交換が行われました。を進めている多くの仲間が集結し、

用い、中央部通路はアーチ型です。て建てられたもので、二二万個のレンガをガ館です。大正一一年に旧河野家倉庫とし多く残り、中でも目を引くのが油津赤レンまた、油津港地区には歴史的建造物が数

は、国の重要伝統的建造物群保 日南市では、国の重要伝統的建造物群保 日南市では、国の重要伝統的建造物群保 日南市では、国の重要伝統的建造物群保

情を楽しんでもらいたいと願っています。に汗を流しています。地域の人々だけでなに汗を流しています。地域の人々だけでないがループが堀川灯籠など、多彩なイベントが加ライト、竹灯籠など、多彩なイベントが加リープが堀川灯籠流しや街並みキャンは川運河や古い建物が織り成すロマンあ堀川運河や古い建物が織り成すロマンあ



杉村金物本店主屋(登録有形文化財)

(合名会社油津赤レンガ館共同代表社員

細田

勝

ジョゼフ・U・クロフォード指揮のもと、

北海道の鉄道の発祥は、

アメリカ人技

市

間が開通し、

稲穂町に

「小樽中央停車

## 風を呼<sub>ぼう。わが</sub>間が

以来、 発展を遂げ、 が国の近代化に大きな足跡を残しまし 治一三年一一 国で三番目に敷設された幌内鉄道です。 重要な地位を占めました。 って日本各地にもたらされることとなり、 から産出された石炭が小樽港から航路によ 樽手宮―札幌間に 一始まります。 港町 小樽は、 月二八日 道内における輸送拠点として これにより石狩、 「弁慶号」が走ったこと 海陸交通の接点として 開拓使によって小 空知地方

明治三六年一〇月、 函館本線、 小樽



-の小樽驛(小樽市博物館蔵)

0000000

## 小樽駅の

客や貨物が増加したことから、

大正九年七

高島駅 です。

たが、

駅周辺の稲穂町界隈が繁栄し乗降

中央小樽駅と四度の改称がありま

が開設されました。これが小樽駅の始まり

在の名称にいたるまで、

稲

穂

大都市となっていました。 のです。 〇万八一一三人、 国の登録有形文化財に登録された現駅舎 三代目として昭和九年に建設されたも 函館に次ぐ道内一 二位の

> クリー と 同

ト構造タイル張り相対型で、

一の設計思想で計画された、

鉄筋コン 敷地

連なる「広間」にはガラス天井にステンド

高さ一二mから光

が差し込んでいました。 グラスがあったとされ、 地下通路が配置されました。

また、

それに

高低差を利用した北海道初のコンクリ

あり、 た年は、

小樽の人口は、

全国で第一三番目の

中心駅となりました。

「小樽駅」

と改称され

第一

回国勢調査が行われた年でも

「小樽駅」とし、

名実ともに港町小樽の

を誇った商都小樽の陸の玄関として、 大小樽の玄闘 小褥驛の設計 [上] 驛舍正 まさに、 onn שות סחת 輸出港の発展とともに降 昭和9年1月27日) (『小樽新聞』 ミナ 新聞 万円、 北 1 1

0000000

歴史あふれる港町の玄関

りました。開業日の 時の工事費で三〇 樽市の一偉観 |五日付)には、 人をかけ、 の近代的な駅とな とあります。 昭和九年一二月 (『北海タイム 延べ人員二万 随 オタル 北海道随 を誇る  $\mathcal{O}$ 

ています。

Z #2 A 照85章 問題 865年 6 85 EL **那長女** 是音覧 NAUD

小樽駅平面図 (昭和15年9月 北海道立図書館蔵)

同時期に竣工した東京・ 上野駅や神戸

活用していくことが今後の課題です らためてその価値を再認識し、 八〇〇〇人が乗降する現役駅舎でありなが (JR北海道開発事業本部駅リノベーショングループ 髙井真希子 築後七三年が経過した今も、 古き良き往時の姿を非常に良く保持 本駅舎の歴史的要素や魅力を十一 景観を生かしたまちづくりの核と このたびの文化財登録により、 小樽の歴史 日約 一分に あ 万

文化、

#### 風を呼<sub>ぼう、わが</sub>明了に

る建造物が残っています。 1村の登録有形文化財建造物を紹介します。 離島の多い沖縄県は、 各島々に特徴のあ その中から三市

# 島の歴史一〇〇年余の北大東島

明治三六年に八丈島から開拓者が上陸する 周りは高さ一五m前後の険しい岸壁です。 大東島で共通して見られる建築様式です。 の旧東洋製糖北大東出張所は、 でも多く残っています。 りました。この時期に建築された施設が今 事業を開始してからは、 時の東洋製糖株式会社が本格的に燐鉱採掘 大東村は まで、長い間無人島でした。 布積みとし、 沖縄本島の東方約三六〇㎞に位置する北 沖縄で最も早く朝日が昇る島で 柱をRC造とした当時の北 大正七年ごろ建築 活気のある島とな 大正八年、 壁を石灰岩



#### 沖縄の登録文化財建造物 南の島から風便

化しています。 現在、

名ですが、 観光客が増えています。 地域に親しまれる登録有形文化財 黒島は、 登録後は文化財を求めて訪れる 人口よりも牛の多い島として有 積まれた珊瑚石灰岩の石垣は、<br /> 造赤瓦屋根の伝統的な民家形式で、 古桟橋があります。 宝と昭和一〇年の建造で全長三五四mの伊宅と昭和一〇年の建造で全長三五四mの伊 や波照間島等全部で九の有人島があります。竹富町は、赤瓦の集落の竹富島、西 表島 学校行事をとおして、 年の歴史を伝え 背景にはフクギ等が立ち並び、 ある黒島には、明治四二年建築の神山家住 組を行っています。 う子どもたちに もに、次代を担 を観光資源とし 島の開拓一〇〇 北大東村では 録文化財建造物 ていくため、登 て活用するとと 日本最南端の登録有形文化財がある竹富町 日本で最も南の登録有形文化財の 神山家住宅主屋は、 島の歴史を継承する取 屋敷周囲に 集落と一体 西装島 主屋の 神山家住宅主屋 木





で行われた「津嘉山酒屋 酒造所 コンサート」

る津嘉山酒造所は、昭和二年ごろに建築されっか業 本島北部、名護市の中心市街地に位置す

沖縄の魅力を発信する資源となっています。 化財である与那国町の入福浜家住宅主屋ない。 ギターの た木造赤瓦屋根で、泡盛を製造している現役 度を活用し、 だまだ残っています。 どがあり、そのほとんどが観光とリンクして、 大盛家住宅主屋、日本最西端の登録有形文 こはぐら荘として知られる竹富町小浜島 化財として積極的な活用が図られています。 く琉球古典音楽」など、地域に親しまれる文 りと紙芝居の「民話の部屋」「木造建造物で聴 まざまな活動を展開しています。フルー 会員で「津嘉山酒屋保存の会」が発足し、 の酒造所です。 (沖縄県教育庁文化課文化財係指導主事 助となるよう、努めていきたいと思います。 沖縄の各島々には貴重な「島人の宝」がま このほかにもテレビドラマ『ちゅらさん』の 「津嘉山酒屋コンサート」、民話の語 、文化財保護と市町村活性化の 平成一七年一月に八五人の 今後も登録文化財制 小禄健夫